

令和3年度

藤里町の人口減少やまちづくりに関する

アンケート調査報告書

令和4年3月

藤 里 町

目次

1. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の方法.....	1
(3) 調査期間.....	1
(4) 配布、回収票数.....	1
(5) その他.....	1
2. 回答者の姿.....	2
(1) 年齢と性別.....	2
(2) 結婚の有無.....	3
(3) 世帯構成.....	4
3. 藤里町への愛着度について.....	5
(1) 住み続けたいか.....	5
(2) 藤里町に住んでほしいか.....	12
(3) 愛着度.....	17
4. まちづくりの現状の評価について.....	22
(1) 普段のおでかけ環境の満足度.....	22
(2) 人口減少に伴う人手不足.....	26
(3) 移住定住の取組みで重要だと思うこと.....	28
5. 藤里町の医療について.....	30
(1) 藤里町に医療機関（歯科以外）は必要か.....	30
(2) 必要だと思う診療科について.....	31
(3) 藤里町に医療機関があれば利用するかについて.....	32
6. 情報の発信について.....	33
(1) 情報の入手方法.....	33
7. まちづくりや若い世代の町への定着に関する取組みに対するご意見やご感想.....	34
巻末資料 ～調査票～.....	45

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

町では、平成 27 年度に「藤里町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少問題を解決し、藤里町の特徴を生かした活力あるまちづくりや、暮らしやすく、子育てしやすいまちづくりの実現に取り組んでいる。

計画の一層の推進を実現するために、取り組みの効果や評価を把握することを目的として、経年のアンケート調査を実施した。

(2) 調査の方法

藤里町に在住する町民 1,000 人を無作為で抽出し、郵送配布、郵送回収により実施した。

(3) 調査期間

令和 4 年 3 月 1 1 日配布 ～ 3 月 1 6 日回収締め切り

(4) 配布、回収票数

回収票数 437 票（回収率 44%）

(5) その他

回答の構成比は小数第 1 位を四捨五入しているため、合計は必ずしも 100%にはならない。

2. 回答者の姿

(1) 年齢と性別

年齢は、令和2年度調査と比べると60代～70代の回答が減り、40代～50代の回答が増えている。性別は同じような傾向で、女性がやや多く54%を占める。

職業も同じような傾向となっており、無職が28%、会社員が24%と多く、合わせて全体の約半数を占める。

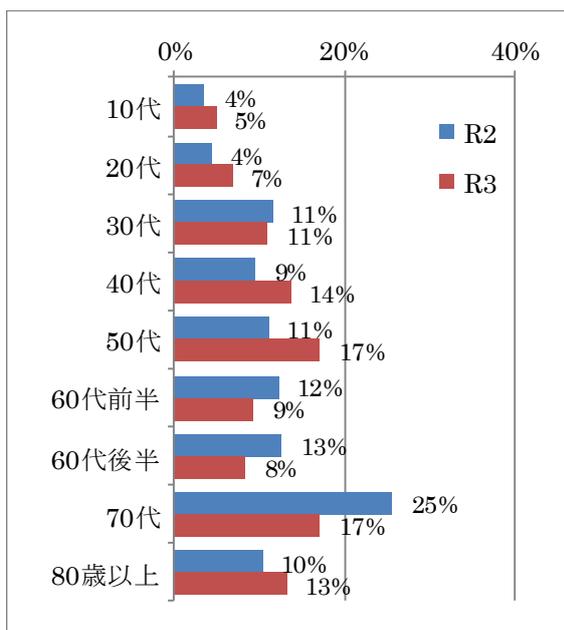


図 年齢

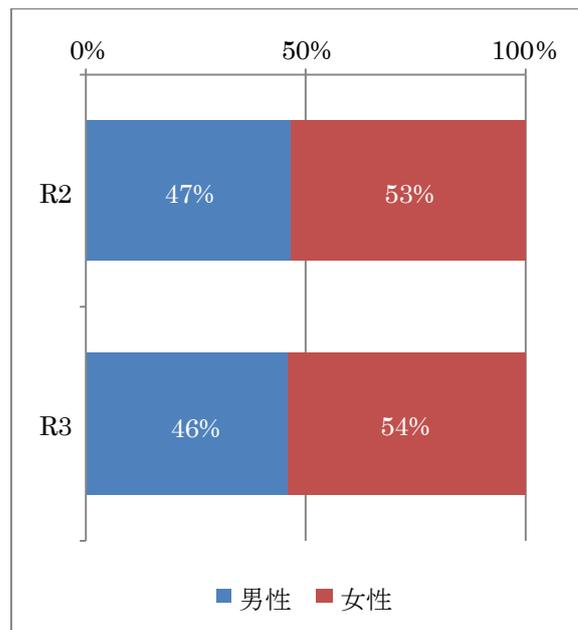


図 性別

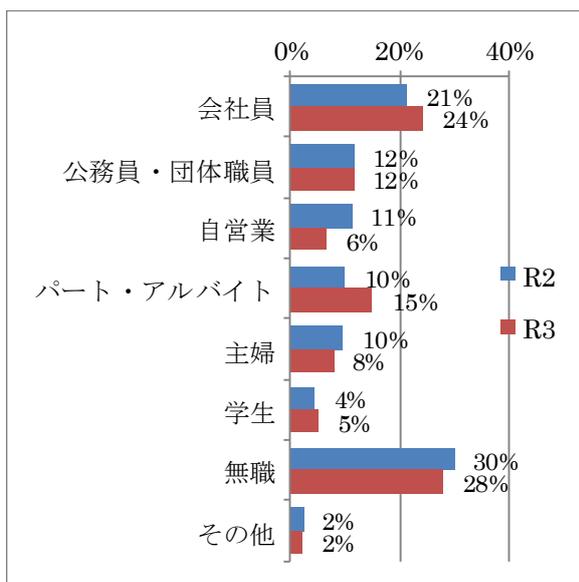


図 職業

(2) 結婚の有無

結婚をしている、もしくは結婚の経験がある割合は、令和2年度は76%、令和3年度調査では75%と大きな変化はない。年代別では、30代の婚姻率が15%上昇している。

男女別にみると、男性の方が結婚率は低い状況は変わらず、男性が65%に対して、女性は85%である。

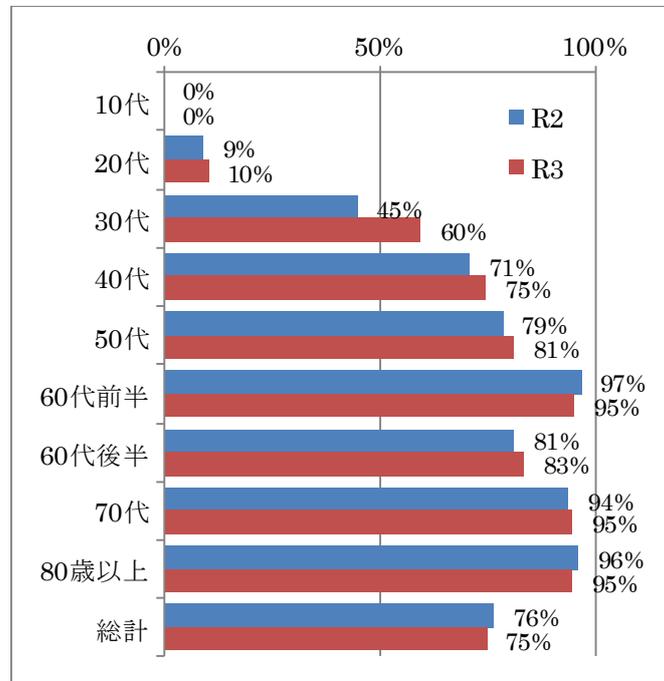


図 婚姻状況

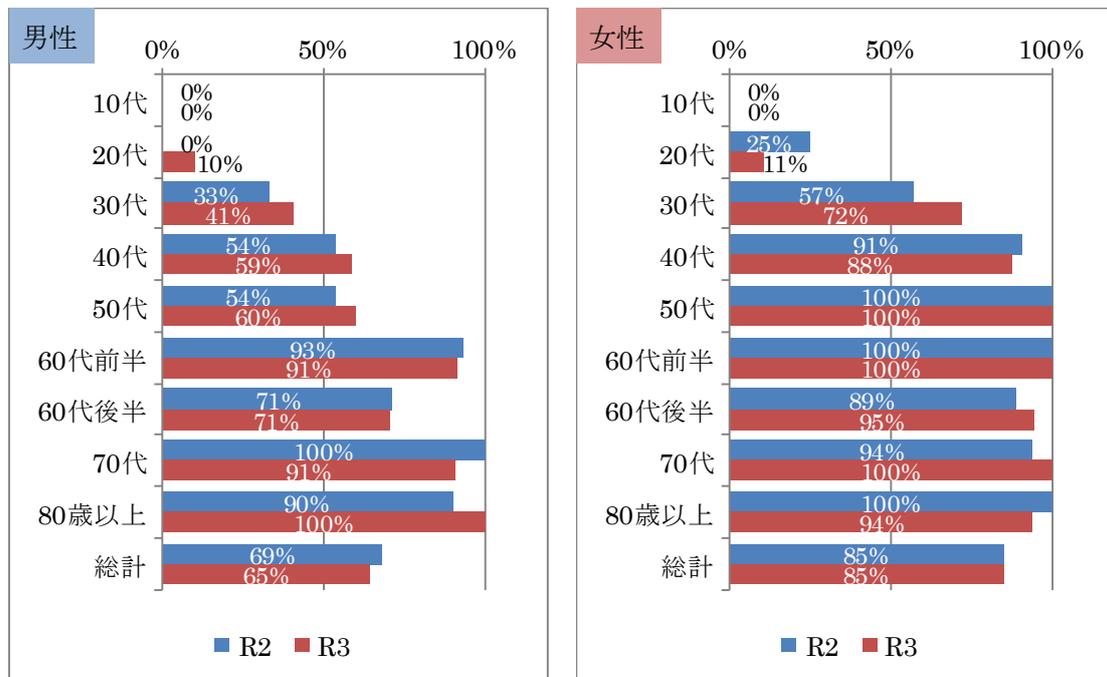


図 男女別の婚姻率

(3) 世帯構成

総計で見ると、2世代世帯が42%を占めて多い。単身世帯は70代が最も多く24%を占める。

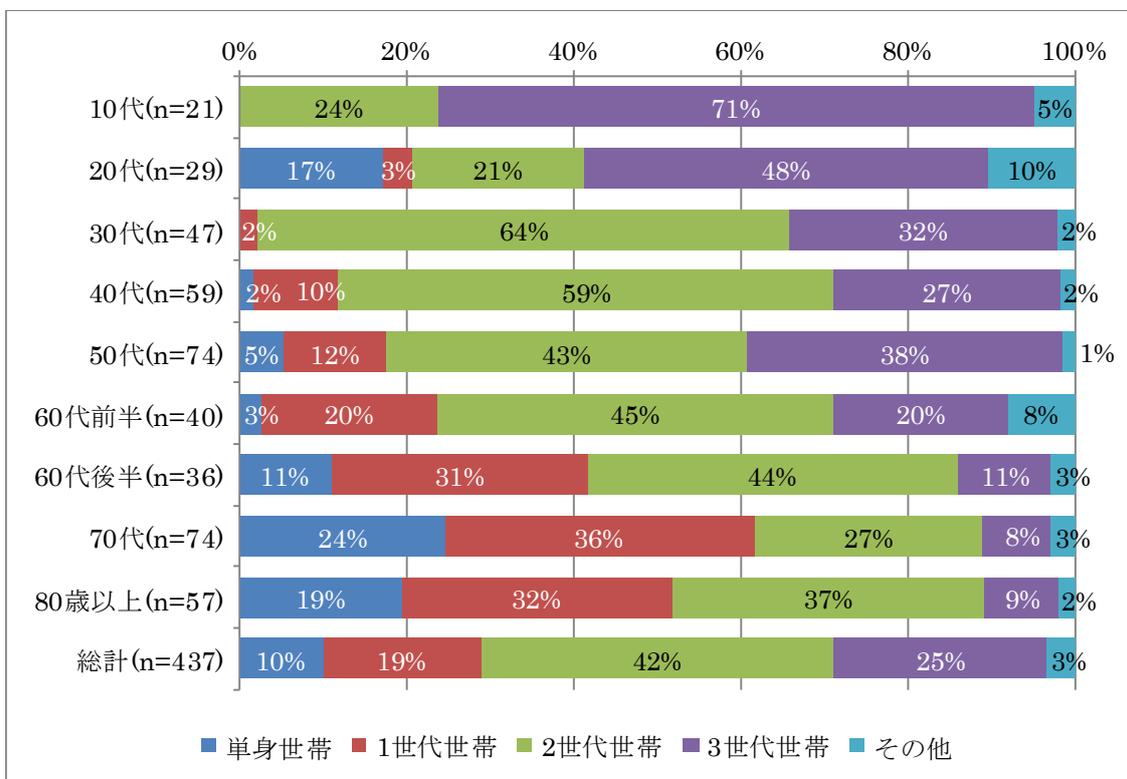


図 同居している世帯構成

3. 藤里町への愛着度について

(1) 住み続けたいか

「このまま町に住み続けたいと思う」割合は、平成28年度は75%、平成29年度は66%、平成30年度は69%、令和元年度は64%、令和2年度は63%、令和3年度は64%と横ばいの状況である。

令和3年度の調査では、「進学や就職などで町外に住んでもいずれは藤里町に戻りたいと思う」という割合が10代では19%と前年度の44%から下がり、20代から70代で「このままこの町に住み続けたいと思う」という割合が上がった。

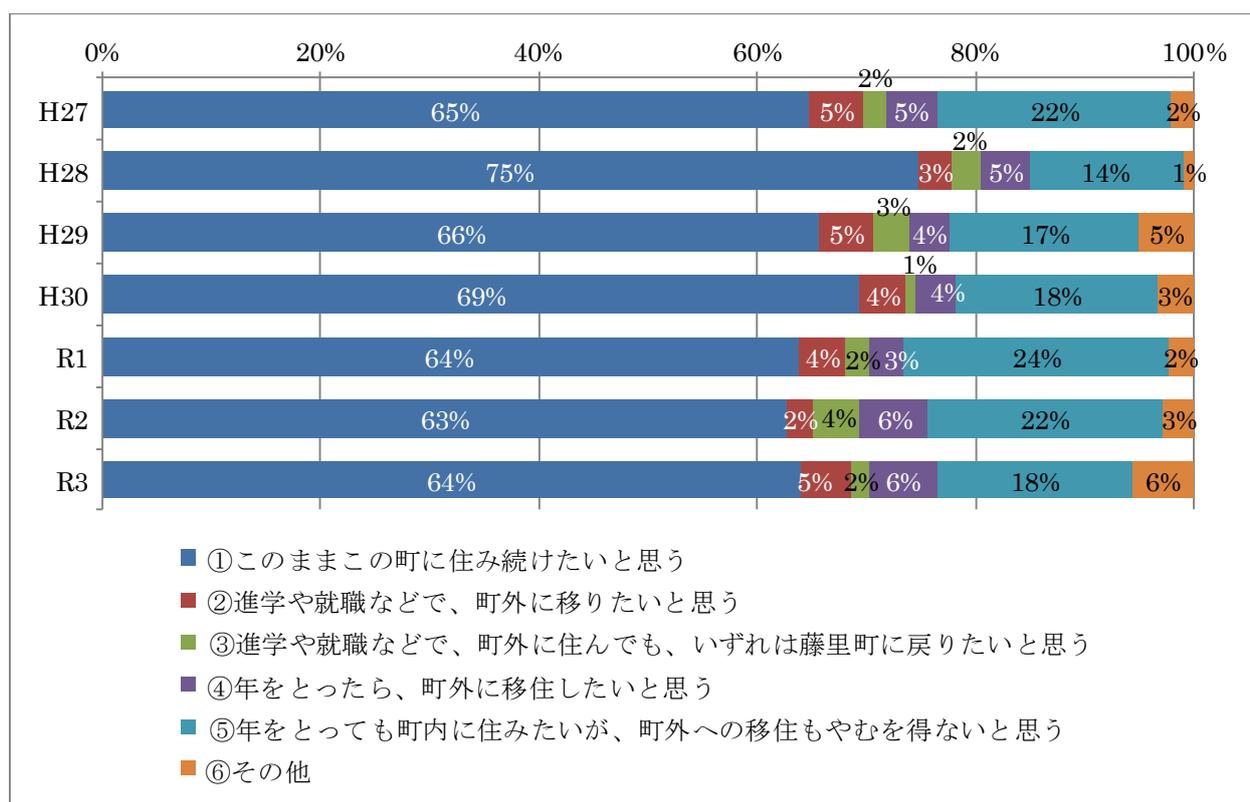


図 藤里町に住み続けたいか

* 「①このままこの町に住み続けたいと思う」を選んだ理由

- ・ 持ち家、土地、墓等があるため（30～80代以上、27名）
- ・ 住みやすいから。（20～80代以上、17名）
- ・ 住み慣れているから。（30～80代以上、17名）
- ・ 生まれ育った町だから。（50～80代以上、15名）
- ・ 他にいくところがないから。（30～70代、7名）
- ・ 高齢のため。（60代後半～80代以上、7名）
- ・ 親や親族がいるから。（30～60代前半、6名）
- ・ 長年住んでいるため。（40～80代以上、5名）
- ・ 町外には住みたくない。（70～80代以上、4名）
- ・ 町外に出る理由がない。（30～60代前半、4名）

- ・ 住み心地が良い。(70～80代以上、4名)
- ・ 環境が良い。(10～70代、4名)
- ・ この町が好きだから。(40～80代以上、4名)
- ・ 自然が好きだから。(20～70代、3名)
- ・ 職場があるから。(20～40代、3名)
- ・ なんとなく。(30～40代、2名)

【10代】

- ・ 就職しているから。祭り参加のため。
- ・ いつ町がなくなるかもわからないし、今一度魅力を再発見したいから。

【20代】

- ・ 生まれ育った町が好きで、祭りが大好きだから。
- ・ 不便を感じることはないから。
- ・ 県内で働いているから。
- ・ 人口を減らしたくない。
- ・ 静かでいい。

【30代】

- ・ 住みやすい、自然がいっぱい、子どもの環境に良い。
- ・ 他に移住するのが面倒。
- ・ お年寄りと会話するのが楽しいから。

【40代】

- ・ 子どもが小学校に通っている。
- ・ 家があり、家族もいるから。
- ・ 町外は考えていない。
- ・ 住まざるを得ない。

【50代】

- ・ 今さら。
- ・ まだ1人で行動できるため。
- ・ 自然が美しい、水が美味しい、管理する資産がある。
- ・ 職場が近く、自宅があるから。
- ・ 移住を考えると環境の変化に対応できない。おっくう。
- ・ ふるさとだから。

【60代前半】

- ・ 若い時は都会にもいたが、今はここで満足。
- ・ 農業維持。
- ・ 安心して住めるから。
- ・ のんびりできる。
- ・ 住むしかない。
- ・ 他に行ける経済力がない。
- ・ 持ち家、職場が藤里。

【60代後半】

- ・ ここしかない！
- ・ 地域連携、生活環境の充実。
- ・ ふるさとへの愛着。
- ・ 友だちやわかりあえる人たちがいる。
- ・ 交通の不便さはありますが、のんびりできる。
- ・ 山、環境が良い。アクセスが整いつつある。
- ・ 細やかな支援の目が届きやすいと期待。

【70代】

- ・ 生まれた所、山、川があつてその幸が多い。
- ・ 80歳を前にして安心できる場所です！
- ・ 人、町が良いから。
- ・ 東京から4年前に皆さまのお仲間に入れていただきました。
- ・ この地が私の人生そのもの。
- ・ 自然豊かなこの地でのんびり暮らしたい。
- ・ 今の年齢では行く所がない。でも今の場所は嫌いです。
- ・ 親しくできる人が多い。

【80代以上】

- ・ 現在のままでよい。
- ・ 知人、友人、環境に恵まれている。
- ・ 町外へ行くのが大儀。
- ・ 特になし。80歳も過ぎているので。
- ・ 年はとっているが自宅で。
- ・ 空気がきれいだから。
- ・ 四季折々の山川の自然の美、そして近所の方々が声をかけてくれる最高の幸を感じる生活だからです。

*「②進学や就職などで、町外に移りたいと思う」を選んだ理由

【10代】

- ・ 町に魅力を感じないため。
- ・ 仕事の幅が広がる。
- ・ 学校が町外にあるため。
- ・ 進学の関係で将来戻ってこれるかわからないから。
- ・ 県外まで通うのが面倒。
- ・ 県外の大学に行きたい。
- ・ 町内に学べる場所がないから。
- ・ 一人暮らしをしてみたいから。
- ・ 進学先が県外だから。
- ・ 魅力的な就職先がないから。

【20代】

- ・ 転勤のため。

- ・ 仕事先が町外だから。
- ・ 移住が決まっているから。
- ・ 働く場の選択肢が少ない。
- ・ 就職する場所がないから。

【60代後半】

- ・ 仕事上の都合による！年金だけでは生活できないので、すべてを仕事に合わせるため。

* 「③進学や就職などで、町外に住んでも、いずれは藤里町に戻りたいと思う」を選んだ理由

【10代】

- ・ いろんなとこで学んでくるから。
- ・ 住みやすい。
- ・ 老後は自然が豊かで、生まれ育った所で暮らしたいから。

【20代】

- ・ 家族がいるから。落ち着くから。

【30代】

- ・ 落ち着くから。
- ・ 生まれ育った町だから。

* 「④年をとったら、町外に移住したいと思う」を選んだ理由

- ・ 病院、買い物等の交通が不便だから。（30代～80代以上、10名）

【30代】

- ・ 町の将来に不安を感じるから。
- ・ 車に乗れなくなったら暮らすことが難しそう。雪かきが大変。
- ・ 人生を謳歌したい。

【40代】

- ・ 過疎化・交通の不便。
- ・ 持ち家を解体する予定のため。
- ・ 何かと不便だから。
- ・ 買い物、病院、交通の利便性がいいところへ行きたい。
- ・ 交通の便が悪い。雪かきが大変。
- ・ 交通が不便。魅力を感じない。

【50代】

- ・ 病院が近いところに行きたい。
- ・ 雪が多い。

【60代前半】

- ・ 高齢のため。

【60代後半】

- ・ 子どもが県外にいるから。

【70代】

- ・ 安心して生活できない。

* 「⑤年をとっても町内に住みたいが、町外への移住もやむを得ないと思う」を選んだ理由

- ・ 子どもが町外にいるため。(50代~70代、5名)

【10代】

- ・ 交通機関の整備。

【20代】

- ・ ライフステージの変化により、社会インフラが整っている場所へ住まざるを得ないように思うため。
- ・ 交通やインフラの差が出る為。

【30代】

- ・ 除雪が大変なので。
- ・ 仕事、交通手段、買い物などの利便性を考えて。
- ・ 運転ができなくなったとき、病院や買い物に自由に行けなくなるから。
- ・ 地元で住みやすいが、できれば除雪しなくてもよい町外に移住したい。
- ・ 何をするのに不便、ものすごく閉鎖的。
- ・ できればずっと住み続けたいが、状況によっては出た方がいいかもしれない時があるかもしれないし分からないから。
- ・ スーパーや病院がなくなると大変だから。
- ・ 車がないと生活が困難なため。

【40代】

- ・ 通院や買い物等が不便。
- ・ 店等の利便性や子どもたちの高校進学によっては。
- ・ 県外に住む両親の健康状態にもよる。
- ・ 将来車を手放せば買い物、病院等が大変となる。バス、電車は自由度が低く嫌だ。完全自動運転車の実用化に期待。
- ・ 交通や色々な面で不便。
- ・ 雪かき、医療機関が遠い、買い物に不便。
- ・ 人口減少による地域社会の機能低下。
- ・ 何をするのに不便な所があるから。施設、病院、商店がない。
- ・ 生活が不便。

【50代】

- ・ 娘のところへ世話になるかもしれない。
- ・ 病院の近くがよいため。
- ・ 雪かきが手に負えない。車の運転をやめたら不自由になる。
- ・ 交通の便、買い物。
- ・ 働く場所が少ない。
- ・ 不便。
- ・ 移動手段がないから。
- ・ 将来が全く分からないので不安。
- ・ 一人暮らしになった時不安なので、子どもの所へ行く事も考える。
- ・ ひとり暮らしの為、体の事など先行きが少し不安。
- ・ 病院や除雪、買い物...運転ができなくなった時。

- ・ 今の地域は、時々土砂崩れなどがある。完全に土砂崩れになると孤立してしまう。迂回路もなく、その様な対応もない。そうなれば考えるかも。
- ・ 交通の便、医療機関、買い物など、自分が運転しなくなったとしたら不安である。
- ・ 日用品の購入の不便さ、通院の不安、除雪の不安等。さらに周りは空き家だらけになると思われるため。獣害も怖い。

【60代前半】

- ・ 買い物できる店がこのままあるかどうか！
- ・ 交通手段がなくなるため。
- ・ 家が古くなった。
- ・ めんどくさくてもらうため。
- ・ 子どもの成長（進路）に合わせられたら。

【60代後半】

- ・ 1人になったとき不安だから。子どもたちのそばに移り住みたい。
- ・ 健康でも車の運転、通院、買い物などができなくなった場合は今のままでは住めないと思っている。
- ・ バスでの移動が困難になるため。
- ・ 老後のため。子どもたちが心配してくれている。
- ・ 冬道の運転が心配。
- ・ 肉体的にも精神的にも老いてきて、自分のことを自分でできなくなって周りに迷惑かける様になるから。町外に住んでいる子どもたちの近くに住みたいと思っている。

【70代】

- ・ 冬季雪の処理が困難。
- ・ 年をとって動けなくなったら若い人たちはどうしてくれるか、この先年をとるたびいつもどうなるものかと心配しています。
- ・ 色々...
- ・ 1人で生活ができなくなった時。
- ・ 買い物が不便。病院が遠すぎる。家の周りが野生動物が多発等、不安なため。
- ・ 冬場の除雪作業が？他は住みやすい。

【80代以上】

- ・ 病院がない事。
- ・ 交通も不便だし、2人でここに住めるかが不安だ。

*「⑥その他」の内容

- ・ 今は考えていない。（30～50代、4名）
- ・ わからない。（20～50代、4名）
- ・ 住み続けたいと思うわけでもなく、町外に出たいわけでもない。（20代）
- ・ どちらも思っていない。（20代）
- ・ 町が変わらなければ、他の町へ移住しようと思う。（30代）
- ・ 町外に住みたいが、夫の仕事等で藤里にいる。（30代）
- ・ チャンスがあったら町外へ移住したいと思っている。（30代）
- ・ 愛着はない。結婚して家もあるから住んでいる。（30代）

- ・ 転勤族のため住み続けるのは難しい立場ですが、家族全員この町との交流で救われました。（30代）
- ・ わからない。健康で車を運転できる限りは住めると思う。（30代）
- ・ 考えたことがない。（30代）
- ・ 町内には限られた仕事しかない為、仕事次第。（30代）
- ・ 老齢となり、除雪や交通の不便を感じるが、住み続けるしかない。（60代後半）
- ・ 今は元気なのだが、死に際は離れている家族に従う。（80代以上）
- ・ 先の事は考え中。（80代以上）

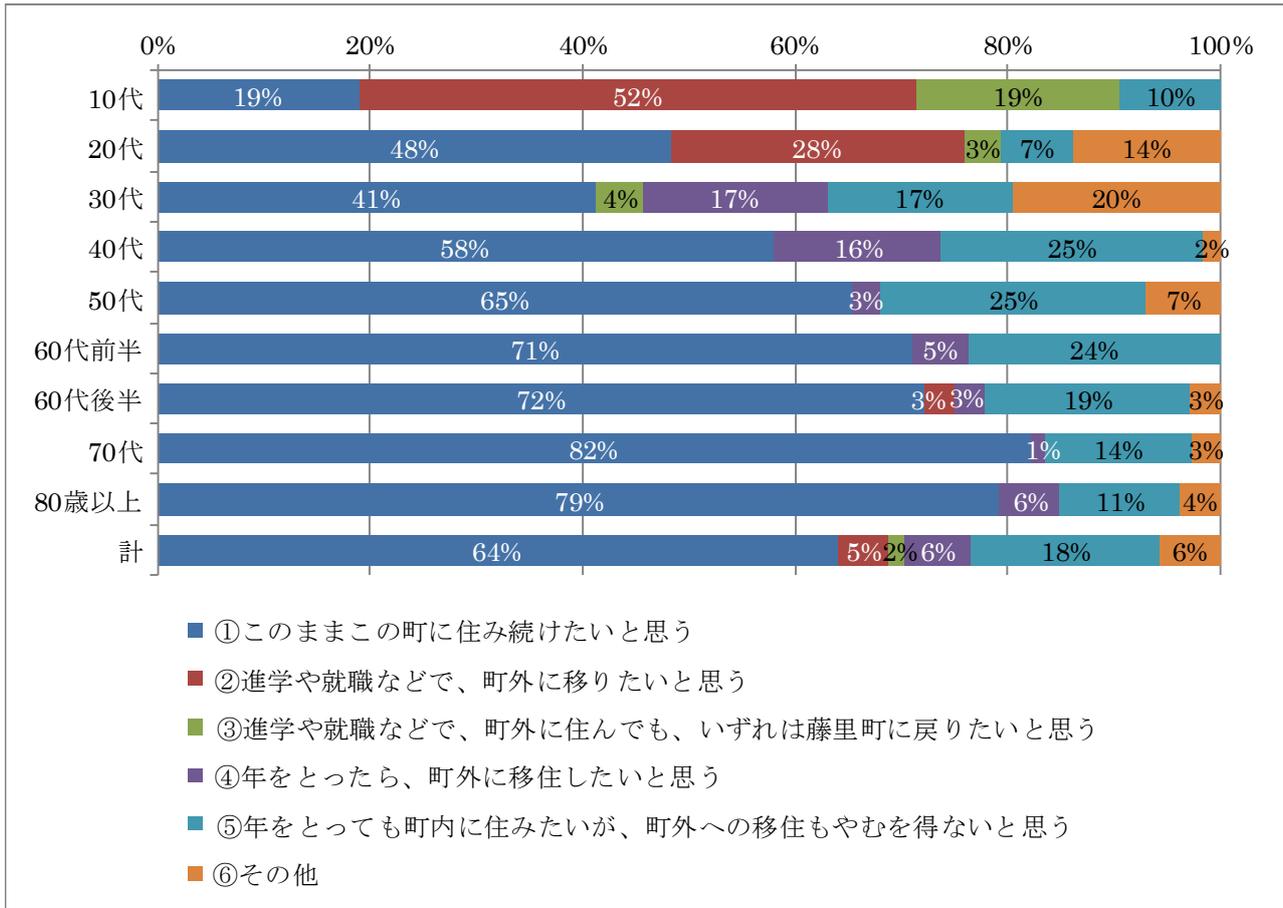


図 このまま住み続けたいか（年代別・令和3年度）

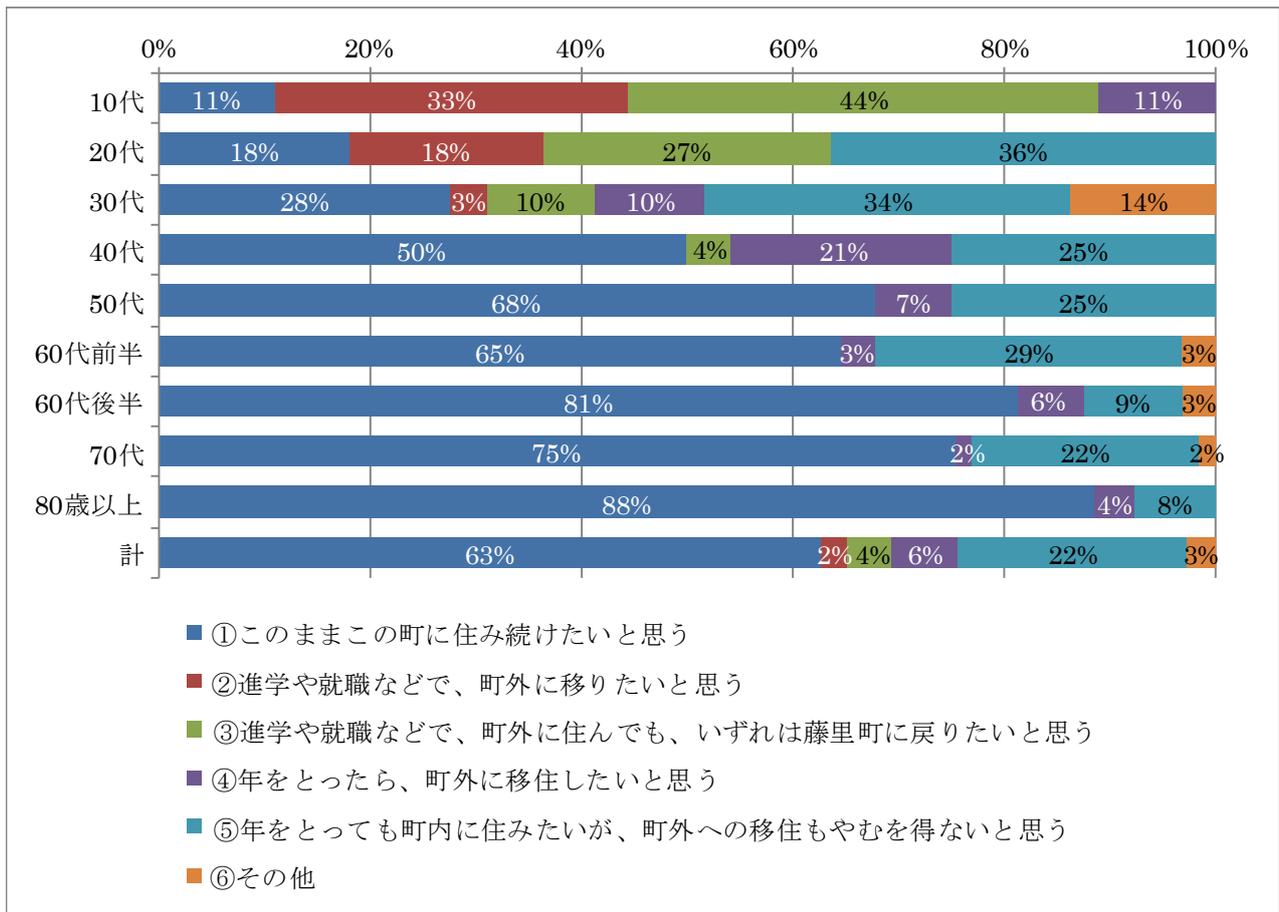


図 年代別 このまま住み続けたいか（年代別・令和2年度）

（2）藤里町に住んでほしいか

将来、あなたの子どもや知り合いなどに、藤里町に住んでほしいと思うかについては、令和2年度に比べ「住んでもらいたいと思う」割合が大きく減少している。

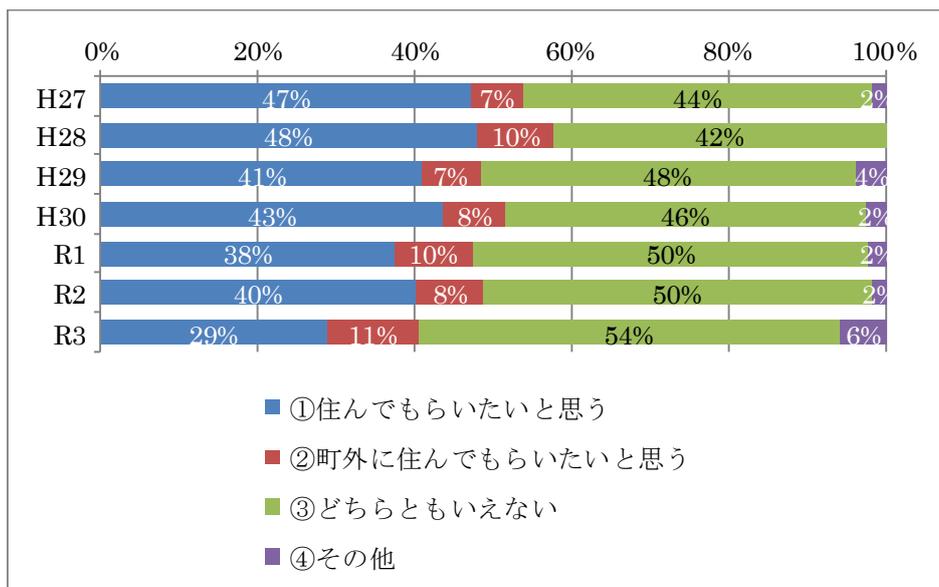


図 藤里町に住んでもらいたいか

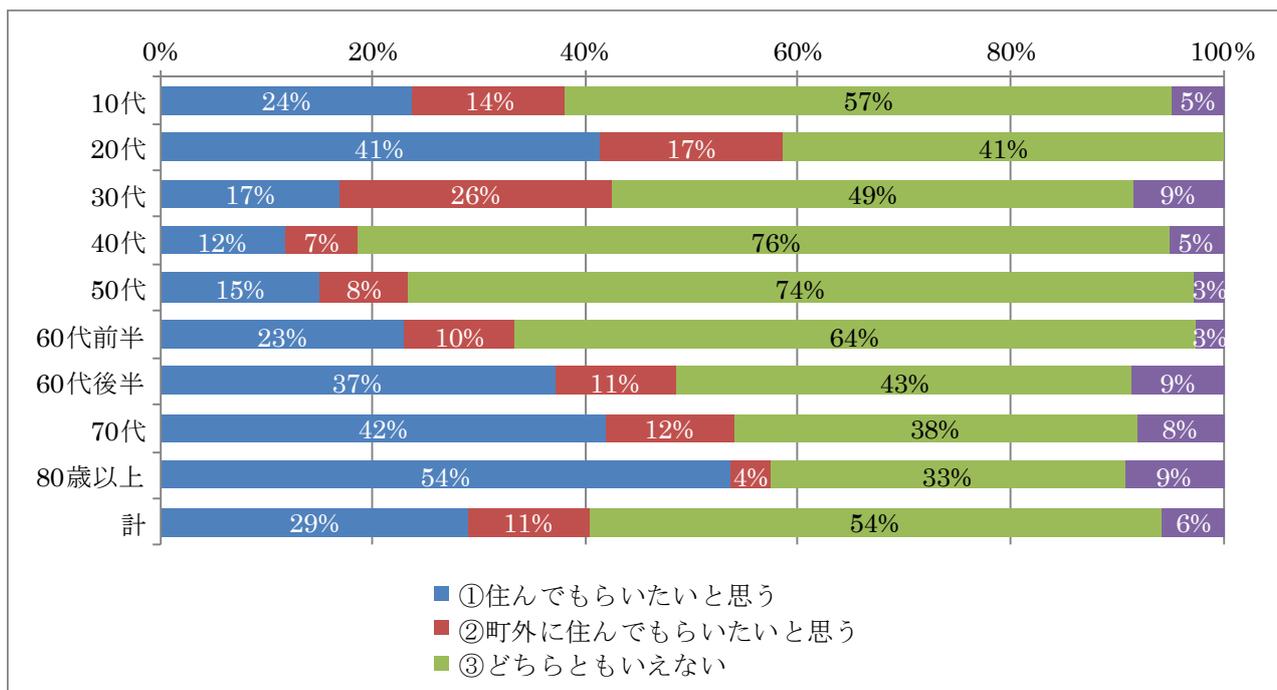


図 藤里町に住んでもらいたいのか（年代別）

* 「①住んでもらいたいと思う」を選んだ理由

- ・ 自然豊かな町だから。（10代～50代、5名）
- ・ 人口が少ないから。（10代～70代、5名）
- ・ 子育てしやすいから。（20代～60代前半、3名）
- ・ 住みやすいから。（60代後半～70代、3名）
- ・ 老後の面倒をみてもらいたいから。（70代、2名）

【10代】

- ・ 若い人が少ないから。

【20代】

- ・ 町（家）を守ってほしい。
- ・ 一緒に住みたいため。
- ・ 安全。
- ・ 買い物は不自由だが、自然があるし落ち着く。

【30代】

- ・ 不便なことは多いけど、人柄はいい人が多いと思う。
- ・ 私がいなくなるから家を守って欲しい。
- ・ こんなに暮らしやすい町はないと思う。
- ・ 子どもがいる人は育てやすい、教育がいき届く環境だと思う。

【40代】

- ・ 家族が増えるのを見たい。
- ・ 空気がきれい。治安が良い。

【50代】

- ・ 若者に町の活性化を図ってほしい。

- ・ 人が人にやさしい、住みやすい町だから
- ・ 知り合いは多い方がいい。空き家が目立つ。

【60代前半】

- ・ ゆっくりと生活を一緒にしてほしいから。
- ・ やはり自分にとっては古里。子どもにとってもそう思ってもらいたい。
- ・ 安心して住めるから。
- ・ 今のところ良い町だと思う。
- ・ 自然豊かな町。せかせかしていない！

【60代後半】

- ・ みんな近くにいて欲しい。
- ・ 良い町だから。
- ・ 人口減少が続く中、町内に知り合いが多いと心強い。

【70代】

- ・ いろいろ相談できるから。
- ・ 不便なところもあるが、良い所もいっぱい。町を盛り上げてほしいです。
- ・ ただし本人次第になるのでは。
- ・ 核家族化でも互いに手の届く所が必要。
- ・ なんにもないところだけど、安心かな！
- ・ 家屋、田畑、山林の管理。
- ・ 土地、家屋がもったいない。
- ・ できれば町外には行ってほしくはない。
- ・ 現在自分の息子夫婦、子ども（孫4人）が町内で生活。
- ・ 集落を少しでも長く続けて欲しい。
- ・ 家と仕事を持っているので、他所より住み良い。
- ・ 家族仲良く心豊かに過ごしていければいいと思う。

【80代以上】

- ・ 町がなくなってしまう。
- ・ 頼りになるから。
- ・ 山や田畑があるから。
- ・ 仕事があれば住んでもらいたい。
- ・ 住んでも職場がないので....。
- ・ 藤里にいつまでも栄えてもらいたい。
- ・ 何かあった時すぐにかけてもらえる。家が引き継がれる。
- ・ 住んでもらいたいが、勤め先がない。
- ・ 一緒に暮らしたい。
- ・ 頼りにする。
- ・ 家族が町内に勤めているから。
- ・ 上を見たら切りがないが、普通に生活をするならこの町で良いと思う。山を見ても川を見ても。
- ・ 身寄りが欲しいから。仕事があればいいが。
- ・ 何かあったとき、相談できるからです。

*「②町外に住んでもらいたいと思う」を選んだ理由

- ・ 働く場所がないから。(30代~70代、6名)
- ・ 不便だから。(30代~50代、5名)
- ・ 何もないから。(10代~50代、3名)

【10代】

- ・ 住んで欲しい気はするが、町に医療機関や店が少ないから。
- ・ 魅力を感じない。ずっと住む所ではないと思う。

【20代】

- ・ メリットが少ない。
- ・ 買い物の利便性が悪い。
- ・ 教育を受けることを考えると、様々な意味で環境が整っているから。
- ・ 利便性がないから。

【30代】

- ・ 何でもある便利な場所に住んでもらいたい。
- ・ 町の将来に不安を感じるから。
- ・ 町内で限界があるので、町外で子どもに色々な体験をしてもらいたい。
- ・ 役場の対応が融通がきかず暮らしづらい。
- ・ この町にいても何もない、何も変わらない。

【40代】

- ・ 安定した職についているので、こちらに来てでも生活していく為の職がないので。
- ・ 人口減→税収減→社会保障費増→公共施設、インフラ老朽化への対応難、行政サービスの低下。
- ・ 閉鎖的な町だから

【50代】

- ・ 人口が少ない。

【60代前半】

- ・ 生活の為の条件がそろっていない。
- ・ 仕事の場所の近くに住んでほしい。

【60代後半】

- ・ 雪が大変。交通不便。
- ・ さみしいが将来を考えて。
- ・ 先行きが心配。
- ・ 店が少ない。

【70代】

- ・ 家を買っているから。
- ・ 人口が少なすぎる。
- ・ 勤め先が限られている。町に活気がない。
- ・ 将来に対する安心ができない。

【80代以上】

- ・ 町外に住んでいる。

* 「③どちらともいえない」を選んだ理由

- ・ 病院がない。交通便悪い、アピール不足。(40代)
- ・ 住んでほしい反面、仕事等を考えると選択肢が多い方が良いと思うので。(40代)
- ・ 仕事がない。(60代前半)
- ・ 住んでもらいたいが、子どもや知り合いの生活もそれぞれだから。(60代前半)
- ・ 生活基盤の確保が難しい。(60代後半)
- ・ 若い人の仕事の関係から。(70代)
- ・ 現在町外にいるので。(70代)
- ・ 通勤範囲であればいいが、仕事がない。(80代以上)

* 「④その他」の内容

- ・ Uターン。(10代)
- ・ すべての人にはすすめられない。ライフスタイルに合いそうな人なら。(30代)
- ・ 住んでもらいたいが、本人の自由。(30代)
- ・ 是非住んでもらいたいと思うが、生活するのに不便なこともあるので何とも言えない。駅がない、コンビニがない等々。(30代)
- ・ 成長した子どもを連れて何度も足を運びたい。(30代)
- ・ 住んでもらいたいが、仕事あまりないので進んで勤めることができない。(40代)
- ・ 別に住んでほしくない。不便なのがあるので。(40代)
- ・ 人それぞれだから(40代)
- ・ 個人の考えを尊重したいので(50代)
- ・ 特に考えていない(50代)
- ・ 子どもの仕事の通勤の利便性を考えると(60代前半)
- ・ 将来へのトータル的環境改善ができるかどうかによる(60代後半)
- ・ 経済的に生活できるような場所だったらよい(60代後半)
- ・ 子どもがいない(60代後半)
- ・ 誰もいないから(70代)
- ・ 日本国内どこも同じようなものと考えます。(70代)
- ・ 個々の幕引きがあり強く言えない(70代)
- ・ 子どもは都会で仕事をしており(70代)
- ・ 現在は二人とも住んでいます。(70代)
- ・ 仕事先に住み続けるものと思う(80代以上)
- ・ 今の藤里には住んでほしくない(80代以上)
- ・ それなりに自分たちも考えていると思うから。(80代以上)
- ・ 住んでもらいたいが、働く場がない(80代以上)
- ・ すでに住んでいる(80代以上)

(3) 愛着度

藤里町に愛着を感じるかどうかについては、平成27年度には「強く感じる」が41%だったのに対して、平成28年度から減少し続けているものの令和元年度から令和2年度にかけては微増している。令和3年は5%減少。「まあまあ感じる」を加えても75%と減少した。一方、10代から20代の愛着度「強く感じる」が高く、ふるさとへの愛着醸成の取組みの成果がうかがえる。30代～50代の愛着度「強く感じる」が著しく低い。

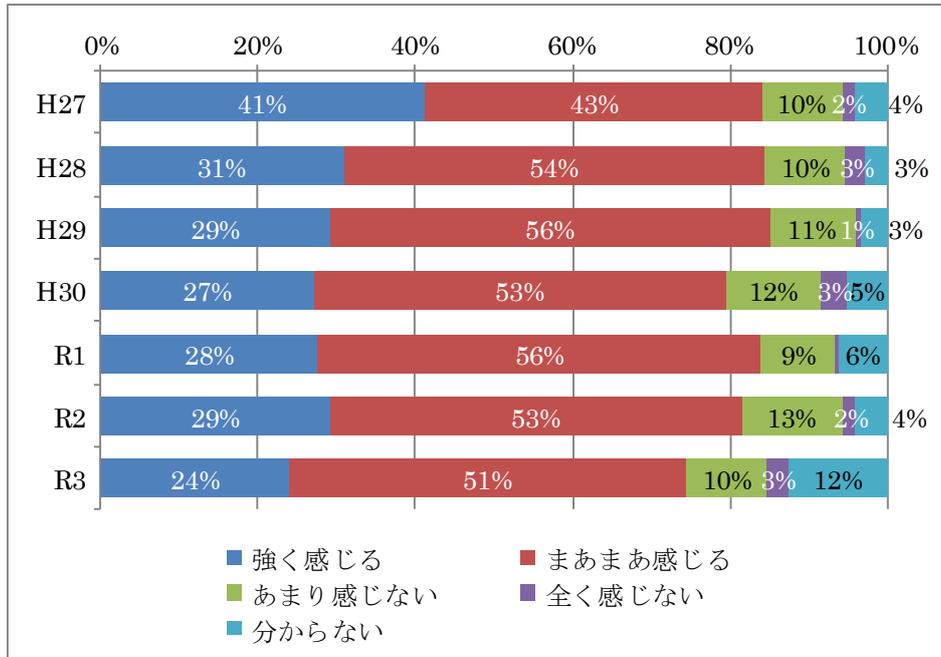


図 愛着度

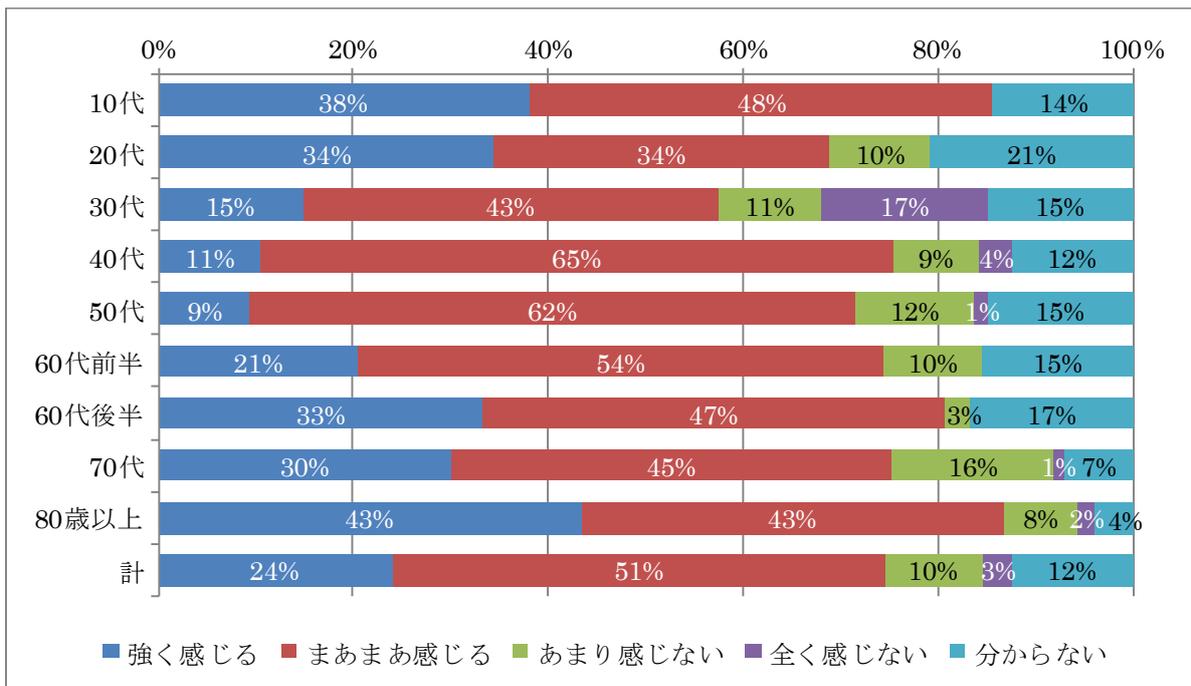


図 愛着度 (年代別)

* 「①強く感じる」を選んだ理由

- ・ 生まれ育った町だから。（10代～80代以上、12名）
- ・ 長年暮らしているから。（20代～80代以上、4名）
- ・ 住み良い、住みやすいから。（30代～80代以上、4名）

【10代】

- ・ 町内的人是みんな優しく、住みやすいと考えているから。
- ・ 町の自然は大好きで、安心感があるから。

【20代】

- ・ やっぱり地元が一番だから。
- ・ 自然が豊かでストレスを感じることがない町だから。
- ・ 優しい人が多い。

【30代】

- ・ 生まれてからずっと住んでいるから。町外で暮らしたいとは思わない。
- ・ 子どもの成長を一緒に見守っていただき、居場所を作っていただいたから。

【40代】

- ・ 出身地なので。
- ・ この町が好きだから。
- ・ 空気がきれい。治安が良い。

【50代】

- ・ 単独立町でも充実しているから
- ・ ここで生まれ育ててもらったし、いいところも沢山あるから。

【60代前半】

- ・ 自然が豊か。町民も協力的で安心感がある。
- ・ 人の絆、かけがえのない生まれ故郷である。
- ・ 自然と共に生きていける。

【60代後半】

- ・ 生まれも育ちもここしか知らない。でも居心地が良い。藤里しかないと思う。
- ・ 人、自然などの魅力は十分に感じる。自分が他市町での生活が長かった分、老後はゆっくりと、と考えるが、健康、食、ライフライン等の状況次第で変化していく。
- ・ 他地域に特段魅力を感じない。
- ・ 自分で生活スタイルが決められる。
- ・ ライフラインが整備されつつある。山（白神山地）宝山。

【70代】

- ・ 生まれた所、山、川があってその幸が多い。
- ・ 友だちがいるから。
- ・ 人、山が好きだから。町の人が優しいから。
- ・ 近所の付き合いがいいから。

【80代以上】

- ・ 自然から山菜などの恵みを受け、満足しているから。
- ・ 自分の家だから

- ・ 自然があり、環境もよいので
- ・ 住めば都とか。藤里も古い歴史を読むと益々よく思ってきます。

*「②まあまあ感じる」を選んだ理由

- ・ 生まれ育った町だから。(20代～80代以上、24名)
- ・ 自然が豊か、好きだから。(30代～80代以上、10名)
- ・ 長年住んでいるため。(10代～70代、5名)
- ・ 故郷だから。(20代～50代、3名)
- ・ 住みやすい。(60代前半～70代、3名)
- ・ 住み慣れているから。(70代～80代以上、2名)

【10代】

- ・ 思い出があるから(友達と遊んだり、祭りをしたり)。
- ・ 生まれ育った町なので愛着はある。魅力があるとは思わない。
- ・ 実家があるから。
- ・ 藤里町は自然豊かで、人も優しいから好きです。
- ・ 生まれた町だから。お祭りは好き。
- ・ 藤里のことは好きだけど、色々不便。
- ・ 長く住んでいて安心感があるから。

【20代】

- ・ 移住者ですが、町のことを新しく知るにつれ愛着が増しています。
- ・ 町民の人柄が良い。
- ・ 大学で県外に行っていたが、就職を秋田にして良かったと思う。

【30代】

- ・ 特になし。
- ・ 愛着はあるが、良い町として誰かにおすすめはできない。
- ・ 知り合いもいるし、住み慣れたところだから。
- ・ 人が優しい、自然豊か。
- ・ 暖かい町だと思う。
- ・ 10年ほど住んだので、だいぶ愛着がわいた。また、両親共に藤里にゆかりがあるので、愛着を感じるのかもしれない。
- ・ 小さな頃から慣れ親しんだ町で、自然が好きだから。
- ・ 子育てする環境がいいから(自然、祭り)
- ・ 育った場所だから。落ち着くから。

【40代】

- ・ ほどほどに静かで落ち着ける。
- ・ 長年住んでいるし、友達も親もいるし、親切な人が多いから。
- ・ 人の温かさ、自然の豊かさ、キャンプ場の安さ。
- ・ 幼少期からここに居るという事はそういうことなのかなと思う。
- ・ 自然に囲まれているのはいい環境だが、病院買い物等は不便であるから。
- ・ 進学以外は町外に出たことがないので、他で生活する自分が見えない。

- ・ 県外からの移住故、やはり地元よりかはやや愛着が落ちるが、4～5年も住むと愛着は感じます。
- ・ 町というよりは住んでいる場所に愛着を感じる。
- ・ 生まれ育った土地で、空気もよく、安心感がある。
- ・ 自然も豊かで落ち着くから。
- ・ 声をかけたり、話ができる人がいるから。
- ・ 住みやすい（町民が優しい）。

【50代】

- ・ 知り合いや慣れ親しんだ店があるから。
- ・ 自分の町だから。
- ・ 住んでて楽しいから。
- ・ 職場も藤里だし、今藤里に住んでいるから。
- ・ 生まれた場所だから見知った人がいる。安心できる。
- ・ 生まれ育った所でもあり、落ち着く感じがある。
- ・ 約40ほど住んでいるが、活性化が感じられず、人の誹謗中傷が多い。
- ・ これまで1番長く生活しているから。友人知人がいる。
- ・ 知人が多いから。
- ・ 自分の実家がある町なので。
- ・ 町の行事や地域参加をしていないから（仕事や無関心にて）。藤里町に関わることで愛着がわくと思う。
- ・ なぜかは分からない。
- ・ 自然が多く、体が動く時は住みやすいと思うが、若者が少なく、高齢者が多くなってくると愛着はどうか？
- ・ 毎日見る風景はとても心が癒されます。

【60代前半】

- ・ 町外出身だが、知り合いが増えたし、白神山地が好きだから
- ・ 生まれ育った町なので、愛着は十分あるが、仕事や設備等に成長を感じれない部分もある。

【60代後半】

- ・ 都会に比べて空気が良い
- ・ 近所の人たちとの交友関係が良いからです。
- ・ 年を重ねると同時に人との付き合いがありがたいと思う。
- ・ 愛着よりも老後。
- ・ 自分が生まれ育った所だから。肉親のお墓があるところだから。
- ・ 他に考えられないから。
- ・ 人間関係が濃く、孤立になりにくいと思う。

【70代】

- ・ 道路の除排雪が完璧である。水が美味しい。
- ・ ここまできたので、健康で終われることを願うのみです！
- ・ 行政が行き届いている。
- ・ それなりの生活ができています。
- ・ 自然が豊かで近隣との幕引が安心できるのが良い。

- ・ 都会の生活が長く、良さの違いを感じております。
- ・ 世界遺産白神山地の麓で暮らせるのは誇りに思う。

【80代以上】

- ・ なんといった方が良いかわからないけれど、落ち着きがあるような気がする。
- ・ 毎年アンケートくるけれど、あんまり藤里町は良くない。
- ・ 災害も少ないし、住みやすいと思う。
- ・ 人情のあたたかさ。
- ・ よそを知らないから。
- ・ 人口少ないので見えるから。

* 「③あまり感じない」を選んだ理由

【30代】

- ・ 育った町だけどそこまでではない。
- ・ 特に魅力がない。

【40代】

- ・ 生まれた場所ではないから。
- ・ 住めば都、という感覚のため。

【50代】

- ・ 町外から来たため。
- ・ 周りを見る余裕がないので。
- ・ 活気がないから。
- ・ 町外の会社と自宅の往復で、町外にいる時間が長くなり、そう感じる。
- ・ 車がないと暮らせない場所。

【60代前半】

- ・ 病院や商店が少ない。

【60代後半】

- ・ 思い出も多いが、思い出したくないことも多いから、今は何とも言えない。

【70代】

- ・ 私は藤里に住んで15年になりますが、一生住みたいとは思わない。
- ・ 自分の生まれた町ではないので。
- ・ 不便である。
- ・ 雪が多いから。

* 「④まったく感じない」を選んだ理由

- ・ 町民に対して住みやすい政策も魅力もないから。(30代)
- ・ 出身地ではないため。出身地よりもとても不便でいい点がない。(30代)
- ・ 未来がみえない。(40代)
- ・ 藤里で生まれたわけではないから。(40代)
- ・ 人口減少と今後空き家が増えることを思うと不安100%。魅力がほとんどない。カメムシも動物が多発。(80代以上)

4. まちづくりの現状の評価について

(1) 普段のおでかけ環境の満足度

普段のおでかけ環境に満足しているかについては、平成 27 年度から平成 29 年度まで「満足している」が 26%から 17%に減少していたが、平成 30 年度では 24%、令和元年度では 57%に増加し、令和 2 年度には、61%まで増加し、令和 3 年度も 61%であった。また、平成 27 年度から「やや満足している」が 34%から 23%に減り続けていたが、令和元年度では 30%、令和 2 年度には 31%、令和 3 年度では 28%となった。

外出時の移動手段は自家用車が突出して多く 93%、次いでバス・タクシーなどの公共交通機関が 6%となっている。

「藤里町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた数値目標は、平成 27 年度現状値が 60%であるが、令和元年度には 80%を達成することを目標としていた。

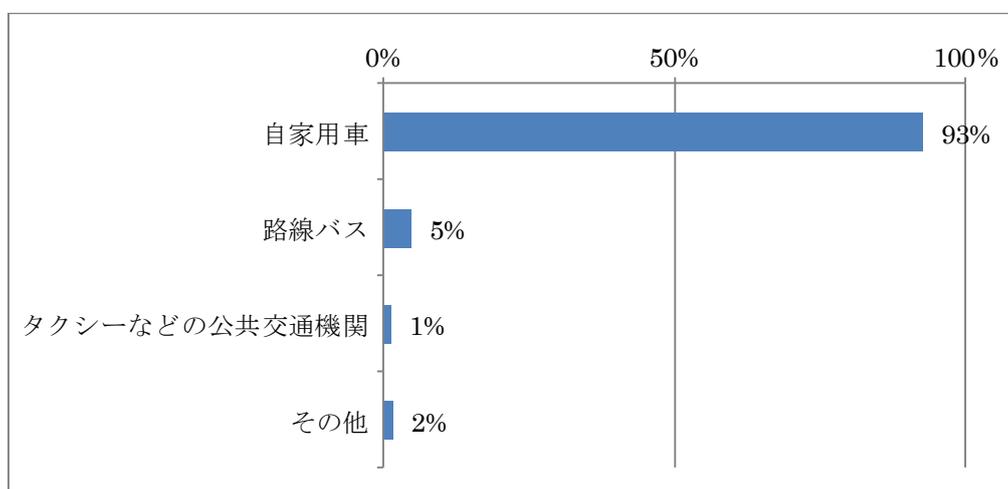
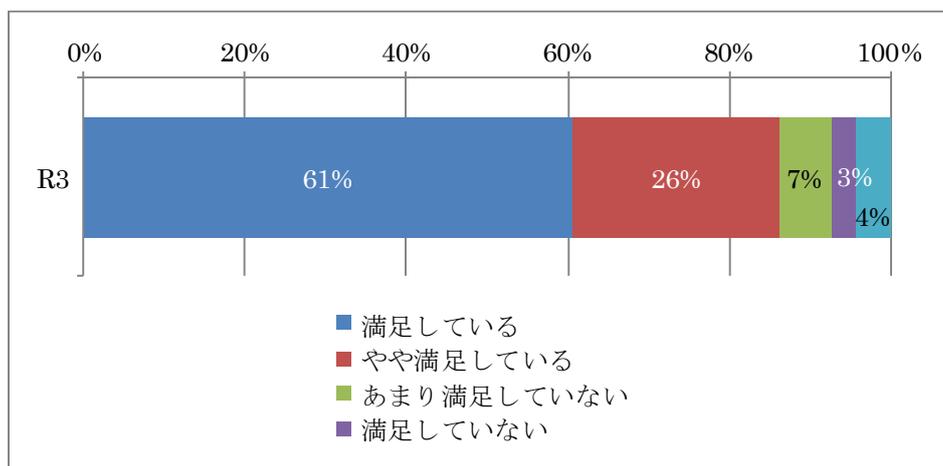


図 外出時の移動手段

*その他の内容

- ・ 親の車、徒歩 (10 代)
- ・ 家族の車に乗る (10 代)
- ・ 子、孫の車 (70 代)
- ・ 家族の車 (80 代以上)
- ・ 介護タクシー (80 代以上)
- ・ 人の車 (80 代以上)



おでかけ（移動手段）環境の満足度

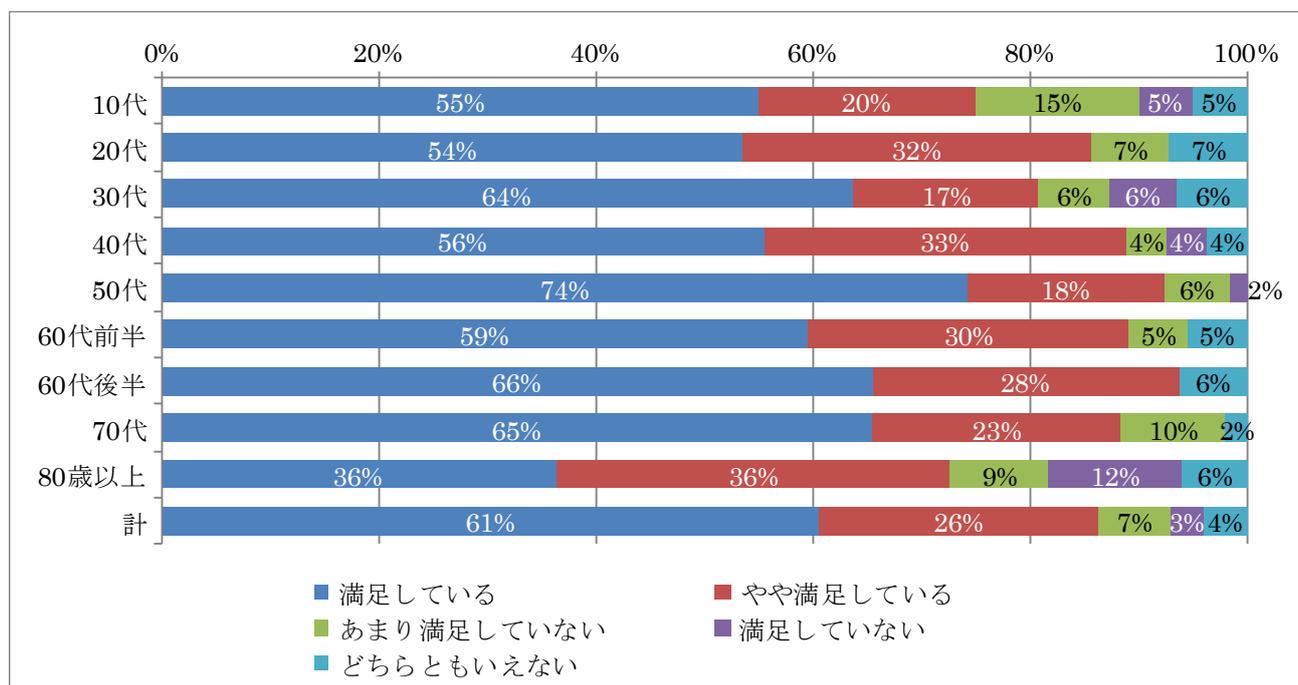


図 おでかけ（移動手段）環境の満足度（年代別）

* 「③あまり満足していない④満足していない⑤どちらともいえない」を選んだ方の内容

【10代】

- ・ 隣町へ行くのに時間がかかる。
- ・ 学生は活動の範囲が狭い。
- ・ 路線バスなども使いたいが、運賃が思ったより高く、夏場は自転車を使って運転したいから。
- ・ 自分の好きなときに移動できないから。

【20代】

- ・ 事故を起こしたら大変だから。
- ・ 買い物へ行くとき遠いから。
- ・ 満足か否かを考えたことがなかった。

【30代】

- ・ 車の運転はあまり好きではないのだが、現実的にはなければ困るので悩ましい。
- ・ 車にお金がかかりすぎる。車がなくても生活できるようになったらいいと思う。
- ・ ガソリン代が高い
- ・ 町外で飲酒できない
- ・ 無いと仕事にも行けない事になる為、満足云々の問題ではない。
- ・ 年をとった時に不安がある。特に冬場は大変
- ・ 基本的に最低限、二ツ井に出ないと何も始まらない。
- ・ 車がないとどこにも行けない。交通機関（高い、時間にしばられる）
- ・ バスの本数が多いと助かる。

【40代】

- ・ 徒歩や自転車では遠すぎて、かといって手軽にバスを使える環境でもない。
- ・ 病院、買い物に行く等は結局遠い。
- ・ 藤里にいる限り、車がなければ生活も仕事も困難。
- ・ ガソリン代がかかりすぎるため。
- ・ 町外の職場のため。

【50代】

- ・ 高齢になったとき心配だから。
- ・ 選択肢が少ないと不安。
- ・ 路線バスの本数も少なく、金額も高いため、気軽に利用できない。
- ・ 今はいいが、免許を返納した時はどうしたらいいのか。

【60代前半】

- ・ ガソリン代が高い。
- ・ 今は良いが、高齢になった時の事を考えると不安がある。

【60代後半】

- ・ あと何年運転できるか心配。先が見えているから。

【70代】

- ・ 車の維持費が高い。
- ・ 年齢と共に不安を感じる。

【80代以上】

- ・ 行きたい所へ自由には行動できるお金はない。
- ・ 病院へ行くのに月1度バスを利用するが、バス代が高く近い病院にと思うが、長年診てもらっているところなので変えられない。
- ・ 高齢でいつまで車が利用できるかわからない。
- ・ 車検、年齢。
- ・ お金がかかるから。

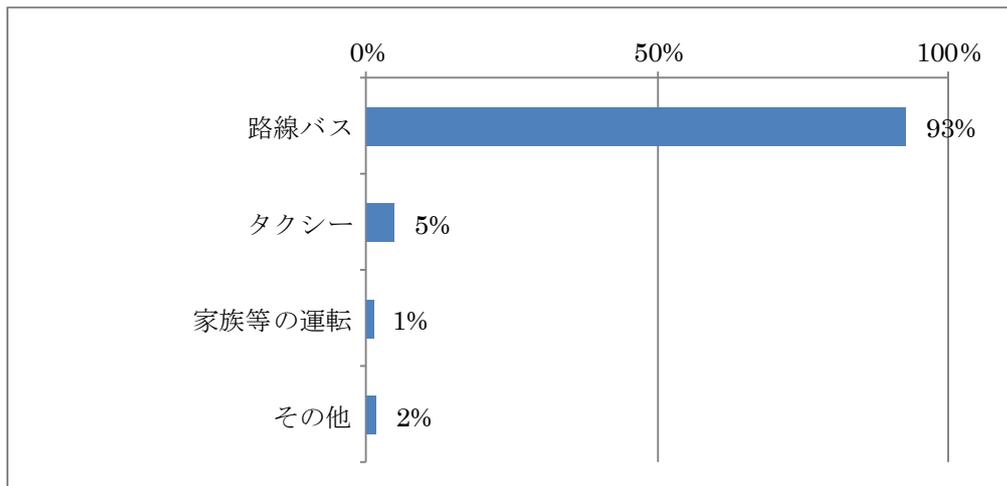


図 将来高齢等の理由で、自家用車を運転できなくなった際の移動手段について

*その他の内容

- ・ 町外へ移住する。(40代～60代前半、5名)
- ・ 特に考えていない。(40代～80代以上、5名)
- ・ わからない。(20代～70代、5名)
- ・ チャリ(10代)
- ・ 自動運転車の進化に期待してます。(30代)
- ・ 電車(30代)
- ・ バス停も近くにないし、タクシーも高く考えても手段がない。(30代)
- ・ そうなった時の状況で。(30代)
- ・ 車がないと行動できない。車がなくても過ごせる所へ行く。(30代)
- ・ できれば完全自動運転の車が...。(40代)
- ・ 必要な時に使える交通手段が欲しい。(50代)
- ・ デマンド交通。(50代)
- ・ 考えたことがない。いつかはそうした思考が必要なのですね。(50代)
- ・ 路線バス、タクシーも不便に感じているので、将来どうしようかととても不安です。(50代)
- ・ 自動自家用車(EV)(60代前半)
- ・ 時々話題にするが、どうなるのか不安。(60代前半)
- ・ 子どもたちが住んでいる所へ移住。(60代前半)
- ・ 不安に思う。現時点はタクシー。(60代後半)
- ・ 町で乗合いバスを。(60代後半)
- ・ 一番不安な問題です。(70代)
- ・ 知り合いの人や親戚に依頼。(70代)
- ・ 知り合いに頼む。(70代)
- ・ 移動販売。(80代以上)

(2) 人口減少に伴う人手不足

普段の生活の中で、人手不足を感じることはあるかについては、「強く感じる」、「まあまあ感じる」が増え、全体では半数程度が人手不足を感じている。

どの分野で感じるかについては、「集落の行事を担ってくれる人」が昨年度に引き続き特に多く、「草刈りなどの地域の共同作業」、「高齢者の見守りや日常生活を支援する人」、「何か困ったときに声をかけたら手伝ってくれる人」も比較的に多く昨年度と同じ傾向が見られる。「冬期間の除雪を手伝ってくれる人」は昨年度の12%から17%と増加した。

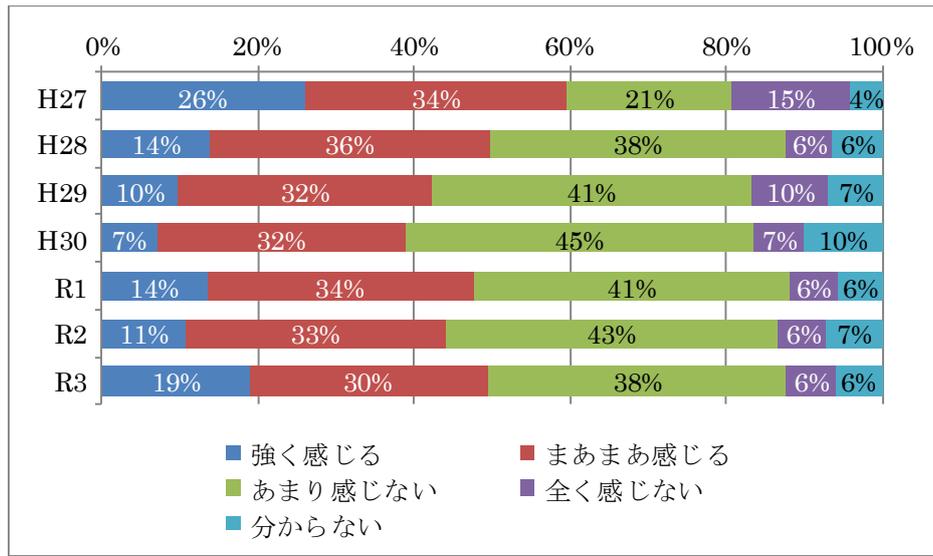


図 人手不足を感じるか

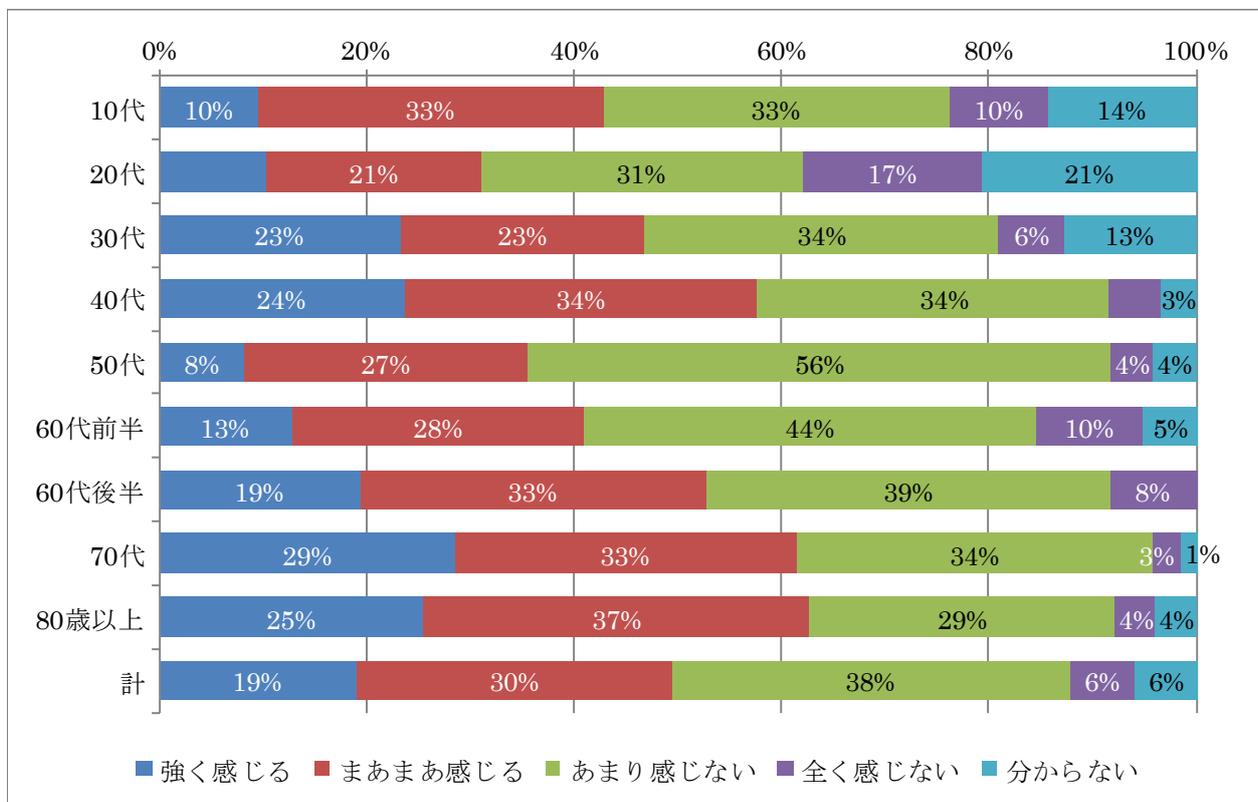


図 人手不足を感じるか (年代別)

[人手不足を感じる分野]

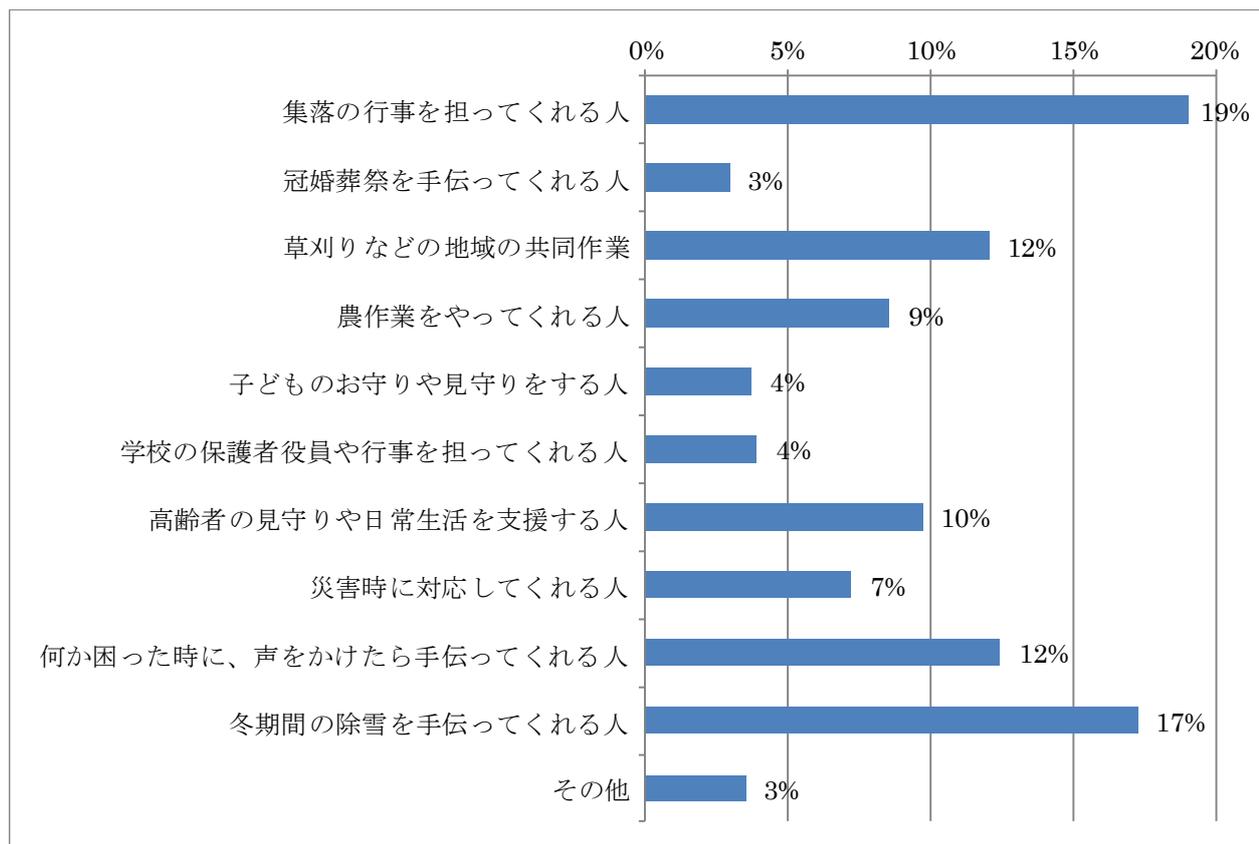


図 人手不足を感じる分野

*その他の内容

- ・ 協会などの役員 (10代)
- ・ 同年代のつながり (20代)
- ・ 未成年～若年層の活動分野 (20代)
- ・ 子どもが少ない (30代)
- ・ 子どもの支援をする人 (30代)
- ・ 人がいないのだから3つまでの意味がわからない (30代)
- ・ 医者 (30代)
- ・ 商業者 (40代)
- ・ そもそも老人しかいない (40代)
- ・ 周りには高齢者しかいないので不安しかない (40代)
- ・ 仕事で (50代)
- ・ 病院がないこと (50代)
- ・ 商工業を継ぐ人、起業する人 (50代)
- ・ 自営で人が不足 (60代前半)
- ・ 職場の人員 (60代前半)
- ・ 家が古くなったけど、リフォームするような資金はない! (60代後半)
- ・ 何もかもに (70代)
- ・ 民生委員以外の話のわかる各相談にのっていただける方 (70代)
- ・ お掃除などできない (80代以上)

(3) 移住定住の取組みで重要だと思うこと

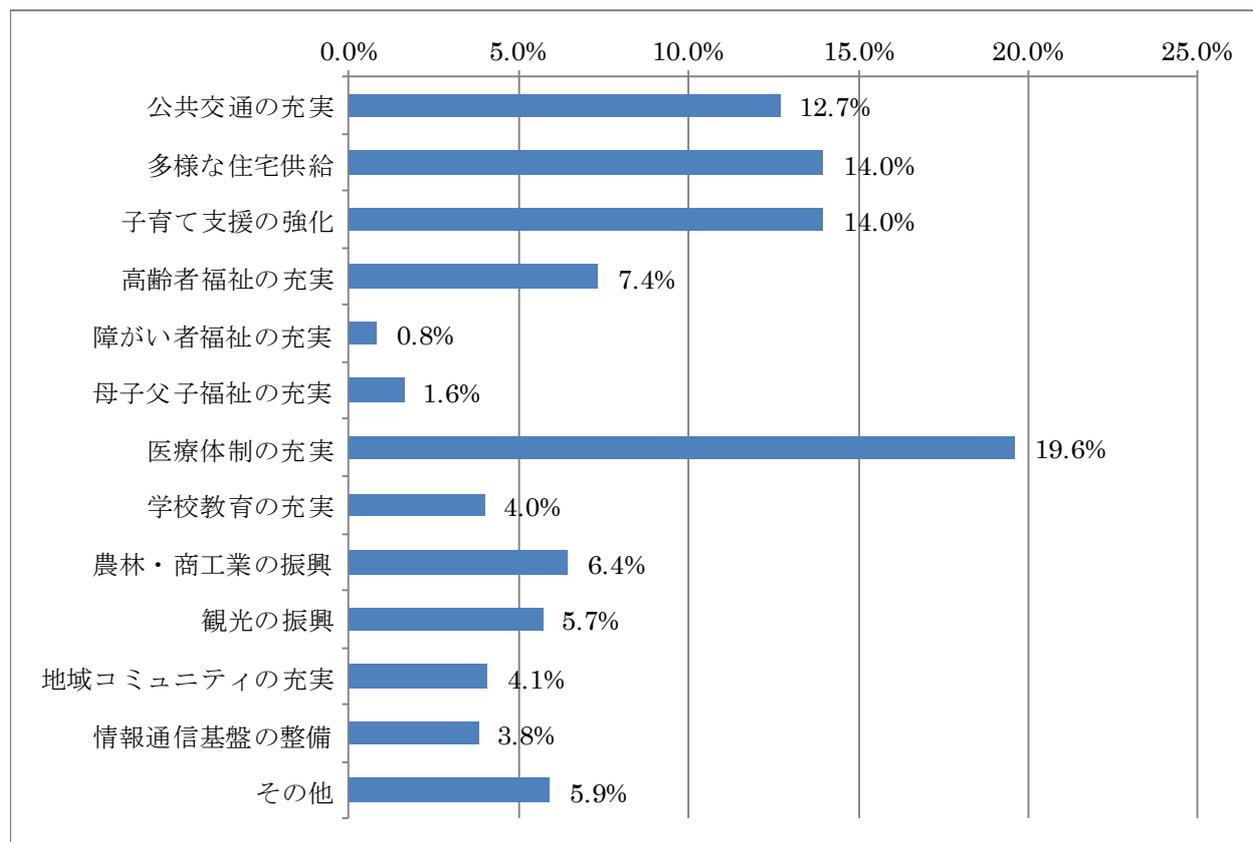


図 移住定住の取組で重要だと思うこと

*その他の内容

- ・ 働く場所、仕事（20～80代以上、30名）
- ・ コンビニ、飲食店、複合施設等の商業施設（20～80代以上、9名）
- ・ 企業誘致（50～60代前半、4名）
- ・ 中高生向けの支援・イベント。（10代）
- ・ 働ける場所と労働に合わせた賃金。（20代）
- ・ 切り取られたきれいな生活ではなく、ありのままの生活発信に尽きる。（20代）
- ・ 移住者がやりたいことへの補助、道路網の充実。（30代）
- ・ 安定した給料の出る就職先。（30代）
- ・ 長期的に見守る取組み、一時的なサポート、その人まかせの支援は×。プライバシーの保持。（30代）
- ・ 住宅もバリアフリーを提供してほしい。（30代）
- ・ 里親をすすめる。（40代）
- ・ 第3子以上に対する資金援助等。（40代）
- ・ 働きがいのある会社（グーグルみたいな会社）。（40代）
- ・ 仕事がなければ移住しても生活できない。若いうちは多少遠くへ働きに行けるが、年を取ると大変だと思う。（40代）
- ・ 若い世代の人たちが、町内で子育てしながら働きやすい環境がたくさんあればいいと思う。（40代）
- ・ 隣町の医療を頼るにしても、身体の不調をすぐに相談できる手段。すぐ受診できる体制。（50代）

- ・ 職場が町外にある人がほとんどである。今年のように雪が多いと除雪もなかなか来なくて、町外に移住を考える人も増えると思う。(50代)
- ・ 取組みを途中で止めることなく継続すること。(50代)
- ・ 他者に寛容な地域コミュニティの創造。(60代前半)
- ・ 健康でいられる環境(白神山地)とか。(60代前半)
- ・ 若い人が働きやすいと思える誘致企業。(60代前半)
- ・ 安心安全な生活ができる環境(トータルマネジメント力)(60代後半)
- ・ 職場の確保、魅力ある教育環境の確立「特技やオンリーワン支援等の導入」(60代後半)
- ・ 働ける場所、藤里町ならではのまちづくり。(60代後半)
- ・ 何々が今度あるから一緒に行きましょうと言ってもらえることがどれほどチカラ強いのか、と思います。(60代後半)
- ・ わかりません。この町の一番いい!と思える物を発信することは必要だと思います。(70代)
- ・ 病院が遠い。(80代以上)

5. 藤里町の医療について

(1) 藤里町に医療機関（歯科以外）は必要か

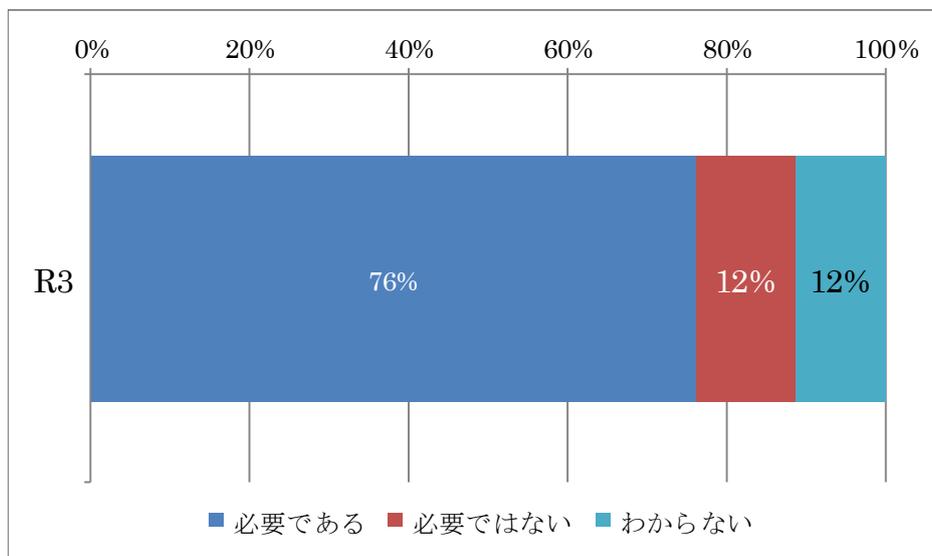


図 藤里町に医療機関は必要か

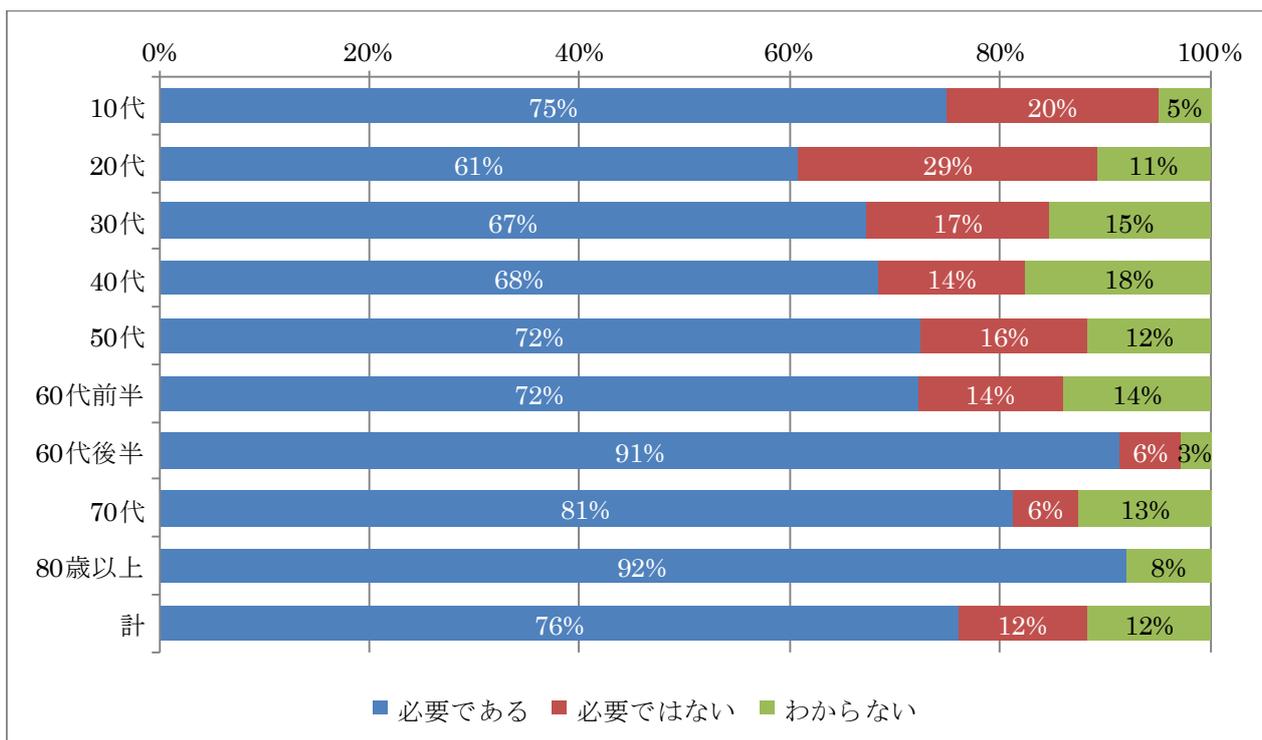


図 藤里町に医療機関は必要か（年代別）

(2) 必要だと思う診療科について

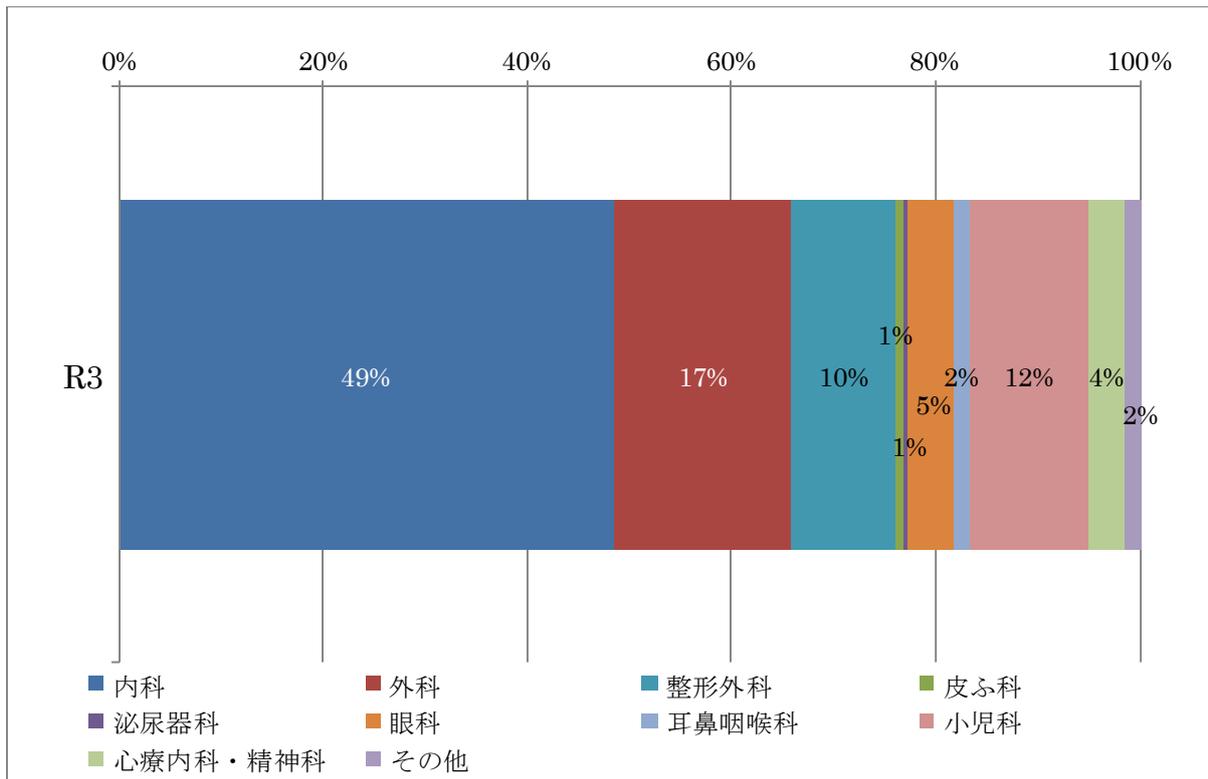


図 必要だと思う診療科について

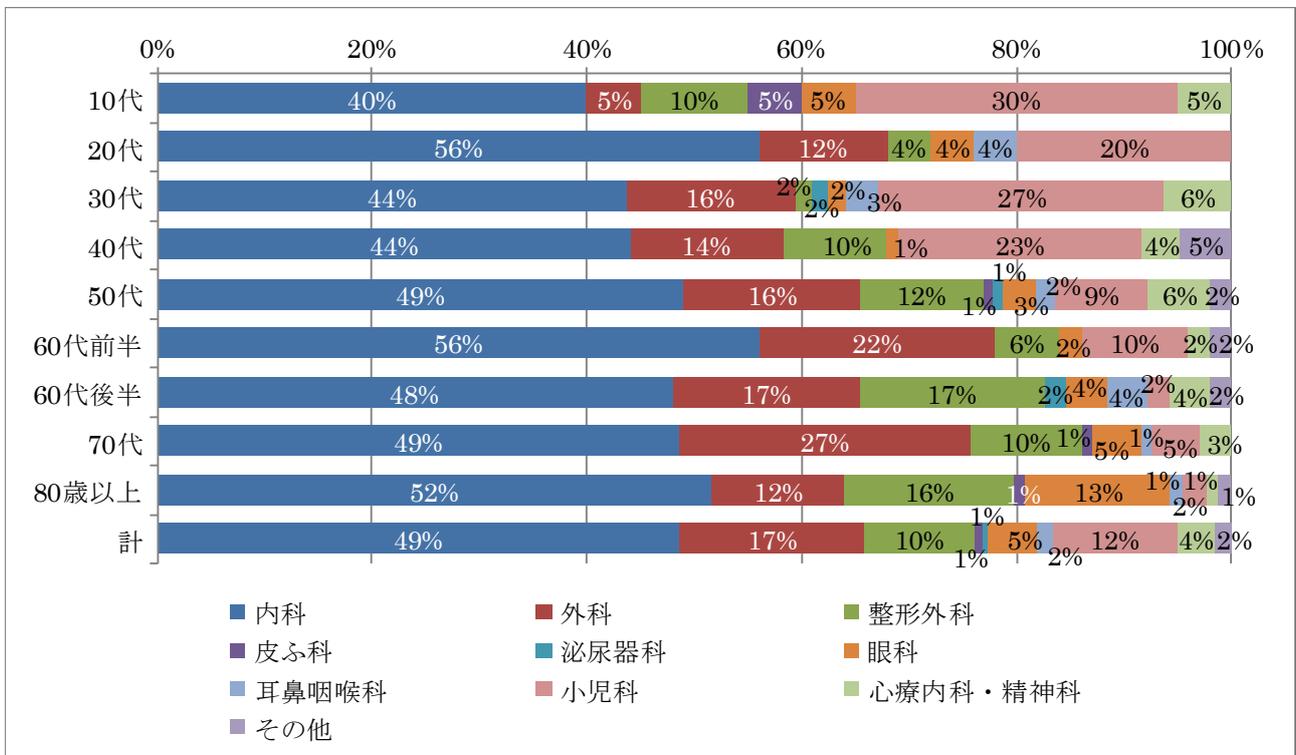


図 必要だと思う診療科について (年代別)

*その他の内容

- ・ 総合診療科（40～50代、4名）
- ・ 全部必要（40～60代前半、2名）
- ・ できる限り全て!!とにかく通うのが大変なので。（40代）
- ・ ホームドクター的診療所が必要（60代後半）
- ・ 一つの科では無理があると思う（80代以上）

(3) 藤里町に医療機関があれば利用するかについて

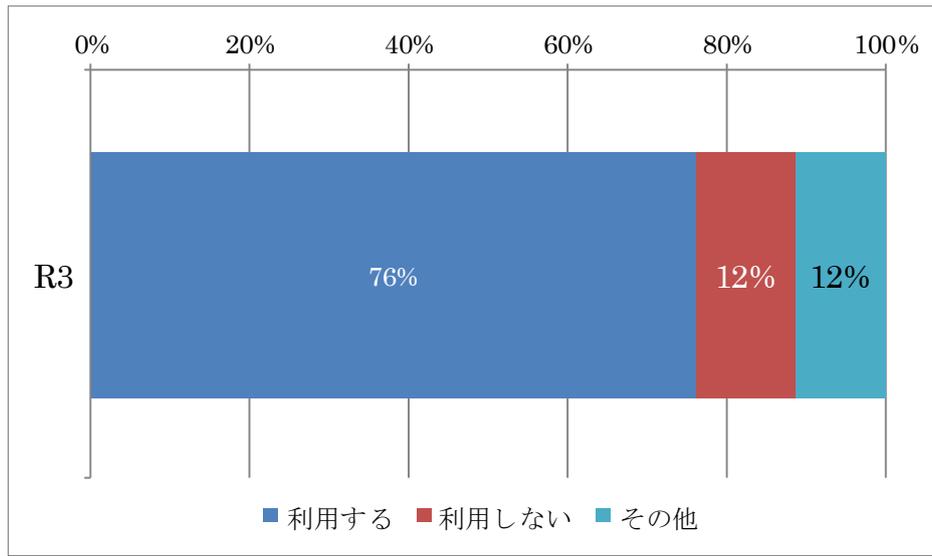


図 藤里町に医療機関があれば利用するか

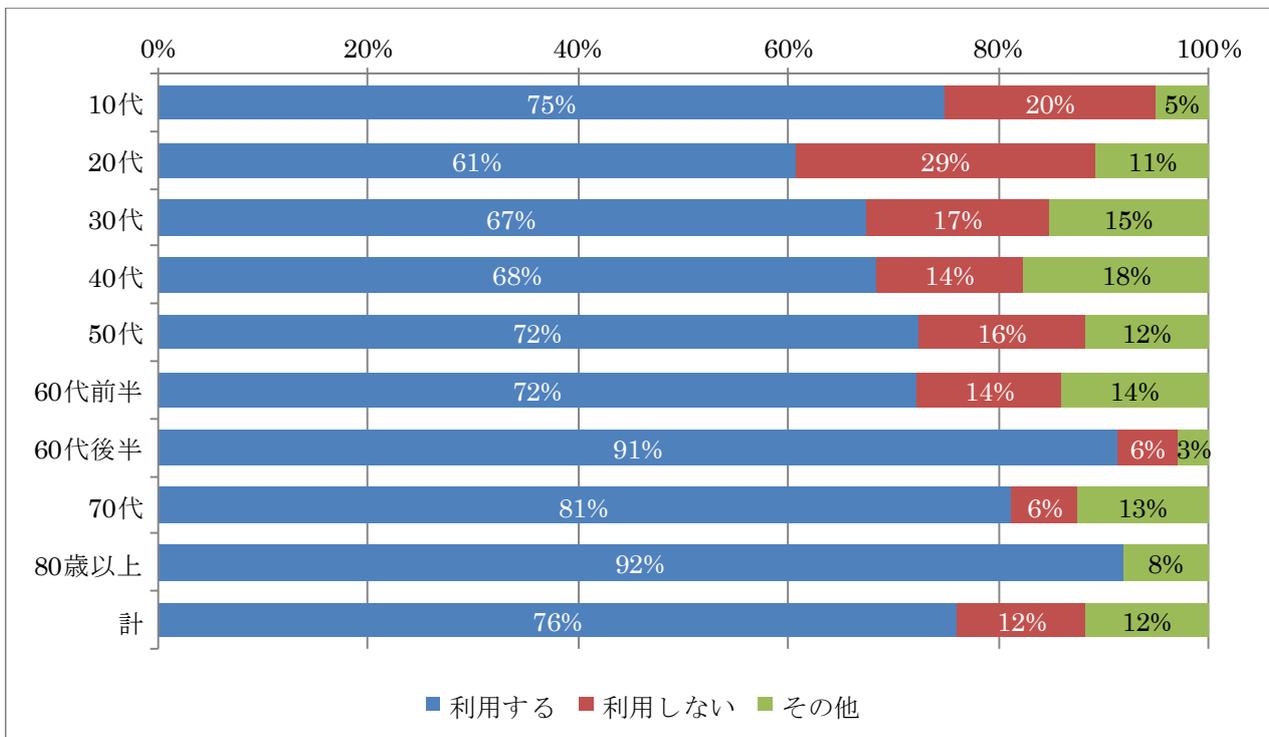


図 藤里町に医療機関があれば利用するか（年代別）

6. 情報の発信について

(1) 情報の入手方法

普段、町のお知らせ・情報はどこから入手しているかについては、「町の広報」と「回覧板」が高い。次いで「防災無線」が44%を占めている。

年齢別にみると、30代以上は複数の手段から情報を入手しているが、10代・20代の入手手段は、ツイッター、インスタグラムなどのSNSを情報ツールとして使っていることがうかがえる。

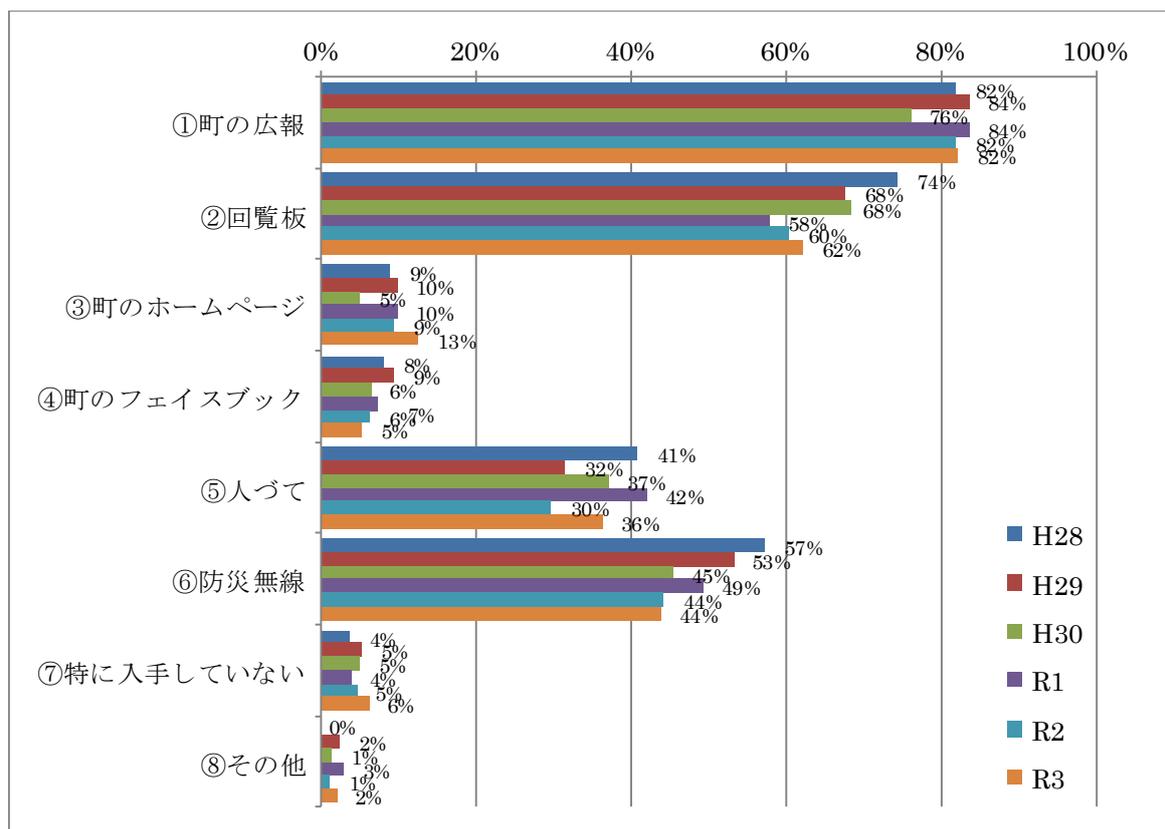


図 情報の入手方法

*その他の内容

- ・ 北羽新報。(40~70代、3名)
- ・ 仕事柄なんとなく入ってくる。(20代)
- ・ 配布が遅れることがある。(40代)
- ・ インスタグラム。(40代)
- ・ 新聞。(50代)
- ・ SNS。(60代前半)
- ・ 有線があるのに読んだ様な言い方でなく、もっと聞いて欲しい気持ちでスピーチしてほしい。(60代後半)

7. まちづくりや若い世代の町への定着に関する取り組みに対するご意見やご感想

10～30代	<ul style="list-style-type: none">・ “幼い子ども向け” “高齢者向け” のイベントばかりで、若者（特に 20 代、30 代）向けのイベントが少ないと思います。子どもがいたり、50、60 代以上だったりすれば、藤里に魅力を感じる部分は本当に多いと思います。もりのソフトとかまいたけ キッシュとか美味しい物はたくさんあるのに、そこをいかせてないところが多いと思います... 現代では小中学生でもスマホを持つ、SNS をするのが当たり前なので、インスタ映えを狙えるデザインにするなどできれば、町内外どちらも若者の興味を引けるかと！祭り好きだし、藤里で生まれ育ったのももちろん住み続けたいという気持ちはたくさんあるのですが、現時点で藤里に残る、戻ってくるほどの魅力は感じられません。（米も水もおいしいし、静かだし本当に好きなんですけど...）・ 特にありません。いつもお仕事お疲れ様です。・ 町営住宅の増設・ 外から見るとアピールや魅力がいまいち伝わらないから 1 つ大きなアピールポイントを作って全国的にもアピールする。・ 清水岱球場にある公園にあった遊具がなくなり、（素波里は別）レジャー施設が少なくなってきたため、遊具を増やすべきである。コンビニなど住民が利用しやすい店を建てるべき。・ 子どもが楽しく遊べる場が必要だと思う。・ コンビニが欲しい・ 空き家をリノベーションして利用していく。農業をしたい人をターゲットとした移住政策。・ このままでは藤里町は人口減少でなくなってしまうので、能代山本の市町村を全部統合したらいいと思う。・ 町へ定着させるために、家を建てる時の補助金などを出してほしい。もし、補助金などの制度があるのであれば、もっとアピールしたほうがいいと思う。暮らしやすい、子育てしやすい、に取り組んでいるのであれば、もっと情報を発信していかないといけないと思う。情報提供が少ないと思います。・ 行政の都合で起業の意志の弱い協力隊を採用するのは控えて欲しい。若者の未来を消費しているように思えてなりません。また、協力隊へもっと手厚いサポートを願います。・ 住居問題を解消して欲しい。町内の給料ですと、促進住宅ですら高額に感じます。願わくば家賃を下げてもらえたらうれしい。空き家に関してはリフォーム等行わなければ快適に過ごすことは難しい状況にあると思います。移住者の受け皿になることが多い空き家ですが、このままでいいとは到底思えません。・ 道路に砂利が多すぎます。これでは自転車に乗れません。・ 狭いコミュニティのため、個人が特定されるような年齢、職業、性別欄をやめて下さい。適正なアンケートから逸脱しています。・ 移住定住者を増やしたいのであれば、首都圏にはない暮らしやすさをもっと PR し
--------	--

たほうがいい。観光で人を呼び込みたいのであれば、観光+住みやすさ、子育てのしやすさもPRが必要。

- ・ 高齢者が通院、買い物に気軽に利用できる小型、中型バスが便利だと思う。
- ・ 町民と行政の協力が必要。「町民の参加意識が低い」「行政に町民の声は届かない」などとお互いすれ違っていると思う。町民への情報伝達はもっとわかりやすく。例えば、このアンケート1枚目の調査の反映、実施についての欄も、〇〇事業と羅列してもわからない。伝える気がないのかと思ってしまう。まちづくり事業も役場職員とその身内だけで盛り上がっているようで、外の人は参加しづらい。ほとんど町内何をとっても人手不足、資金不足なのだから、町民の多くがやる気を出さなければ何を進めるにも難しいと思う。いろいろなアイディアは個々人が持っているのに、それが行政にまで届かず、また言ってもそんなことはできないとあしらわれるのはとてももったいない。
- ・ 人手不足で作付けしなくなった田んぼを必要な人に貸すような事業はないですか？
- ・ 空いてる田んぼを※以外でも使用したい人や業者を誘致したりできませんか。・冬場個人へ貸出しする除雪機を用意してもらえませんか。
- ・ アルビオンのように自然豊かな場所を必要とする業者会社を誘致してみてもは。
- ・ 自然エネルギー会社へ町をアピールしてみてもは。・アウトドアが流行していますので、素波里園地や岳岱などの整備、レジャー会社へ町をアピールなどできるのでは？
- ・ 空き家が増えていくと思います。利活用だけでなく、所有者を把握したり、連絡が取れるように管理してまとめる必要があるのでは？落雪や倒壊の危険があると近所から相談があっても何もできない、たらいまわしでは困ります。
- ・ 郷土愛が育つ教育は、学校でも社会教育でも家庭教育でも重要だと思う。近隣だと大館などはがんばっているイメージ。愛着がないと便利なところへ行こうと思うのは当然の心理かと思う。
- ・ お金をあげるのではなく（お金は自分でかせぐ!!）、子育てや移動にはお金がかからない町。
- ・ ゆとりあ温泉の改修（スパサウナ強化）。起業する人を支援して雇用拡大。お花屋さんやケーキ屋さんが欲しい。雑貨屋を集めて那須のようにしたい。運動できる場所が欲しい（熊が出ない安全なところ）。子どもの習い事教室を増やしてほしい。（ピアノ、習字、水泳、英語、etc...）。その習い事教室の情報を何かしらで宣伝してほしい。本屋さんが欲しい。図書館を広くして本を増やしてほしい。小中学生が地域の人と関われる機会を増やす。いとくをなくさないでほしい。高校生の通学支援（バス、乗合タクシー等）
- ・ 若い人が働ける企業などあれば町に残ってくれる人も増えると思う。田舎だから何もできないと思わせない取組みなど。
- ・ 企業誘致
- ・ 役場の対応が若い世代の人、移住者の方のためのものになっていない。ダブルワークをしているが、仕事をしている時間として合算できない。子育てしている世帯に全然優しくない対応。相談しても解決策は提案してくれない。結局、役場に頼らずに自力でなんとかしなくてはならないため、なんのために役場があるのかわからな

い。町民の声を聴いてなんとか解決してあげようという態度であればまだいいと思う。時代に合った形に変化させるべき。保育園で自宅での仕事、フリーランスの仕事などでは預かれないおかしいと思う。子どもの数が少ないのだから、制限せず受け入れたらと思う。

- 若い世代といっても色々な悩みやこうであってほしいと思ってる人がたくさんいると思う。このアンケートで何が変わるのかわかりませんが、反映してくれることを願います。身体障がい者の家族がいます。子どもや老人に“力”を入れたいのはわかりますが、そういう人たちも住みやすい町にしてくれたらなと思います。（働く場の提供や在宅で出来る仕事の紹介など）
- 2ヶ月1度ぐらいのペースでも良いから土日に町民課を開けてほしい。働いている世代は平日の日中に役場に行けない。
- 英語塾、とても良い取組みなのに力が入っていないのかとても残念です。目標設定を明確にし、子どもたちが意欲的に学習できるよう工夫して欲しい。例えば、藤里町独自の？英語塾検定等を作り、テスト等で合格、不合格等...
- 他の町に比べて、若い世代が住み、町を支えているという印象がある。他県へ移り住んでしまった若い世代を呼び戻すよりも、今住んでいる若い子たちを大切に、藤里で家庭を持ってくれたらおのずと定着へと結びつくのではないかなと思う。もうやられていると思うが、小中学校の時から、藤里町への定着へとつながるような何かが必要だと思う。
- 他の市町村のマネをしているだけでは藤里町は無理です。「藤里町」を見て、いろいろと考えるべきだと思います。町として、若い人たちに本当に残ってほしいと思っているのかまったくわかりません。伝わりません。町（役場職員）は、移住者へもっと耳をかたむけるべきだと思う。何でもやるやると言ってやっていないという話を聞きました。もっと今までと違うことを考えないと、今後若い人たちは残ってはくれませんよ。
- 若い世代の定着は無理があるかなと。やりたい仕事が多くにあればそれは可能だと思うが、選べるだけの職種もなく、企業もなくじゃあ生活していくのは不可能。高齢化が進みすぎている為、高齢者を見られるだけの人員の確保と、そういう所への支援が町を残していく事に繋がるのかなあと。
- 学校では、町の特産品や町の事を学ぶ機会が多く、魅力的な町をアピールしているが、良い所ばかりを強調するあまり、その裏にある問題が見えたときに子ども達の落胆が大きいように思える。問題、課題に町としてどのように向き合っているのか、小さいうちから学んでもらいたい。
- 多様性を受け入れることができる人が行政を行う。
- 古い考えしかできない人を排除する。
- 否定から入る人を排除する。
- 世代交代
- 移住してきた理由（やりたいことがあるなど）があり、やってみたいと思う気持ちを町の人（役場など）に話してくれたその時に、何か手立てを一緒に考えてくれる人、場所があれば夢の実現を藤里で叶えられるかもと思ってもらえるのではないかな

	<p>と思います。他の市町村の取り組みも今ネットなどでもみえる中で、移住してきた後の更なる対応の工夫が必要ではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代にどんな町なら住みたいのか、まだ住んでいる人たちからこの町の良い所を聞ける場を作ってみたらいいきっかけになると思う。 ・ いま以上に移住者、定住者、町内希望者のための住宅を整備し、豊富な雇用の場をたくさん作り出す。本来は義務教育学校よりも遥かに重要視して一番に力を注ぐべきであった。 ・ アルビオンやこみっと、えすぼわーるなど、町で作っている物をもっとアピールする。市日ですとか、もっと町民が買いやすく手に取りやすくなればいいのかな〜と。活気もつくし、知ってもらおうという意味でも。せっかく良いものがあるのに、ちょっともったいないな〜という気もします。 ・ これから移住者が増えていくかもしないで、その人たちが求めていることを反映させていく。 ・ 町から出ていなくても暮らせる、住みたいと思えるメリットがたくさんあれば... ・ 定着とは関係ないですが、三世代の絵本ルーム。たまごプール、絵本もいろいろあり、親子で楽しめる落ち着いた場所だとおもいます。ただ、換気的面がちよっと不便かなと。窓は安全面で開けないようにしているんだと思いますが、暑かったり、空気がよどんだり。入り口は閉めた方がいいと思って。特に今のコロナ禍では換気して新鮮な空気を入れられるようにできたらなあと思います。 ・ ふれあいなどが必要なのはわかるが、そういった建物よりもコンビニ、スーパー、飲食店など不便しないようにしないと若者は来ない。 ・ 観光面では山や森林だけでは魅力がない。遊べるなにか、または町外から見に来るおもしろい何かが必要。 ・ 食事する場所がない。気軽に行ける所がないので作るべき。とにかく買い物、病気の時食事にかかる町なので、改善が必要だ。 ・ 簡単な事ではないけれど、コンビニなど誰でも利用できる所が欲しい ・ アパートタイプお住宅だけではなく、戸建てタイプや空き家をリフォームした住宅など、集合住宅以外も充実してほしい。子どもの成長にともない住宅環境や進学が理由で町を出る事を考える場合もあるため。移住してきて何が良かったのか考えてしまう事がある。「こんなはずではなかった」と思わないようにするためにと下調べもし、話を聞くなど、こちらから歩み寄る努力をしても、町全体の雰囲気になじめずつらくなる事がある。もう少し、若い世代の意見やアイデアが受け入れるようになってほしい。「古き良き」ばかりではなく、新しい風も少しでも取り入れてほしい。 ・ 若い世代がなりたい職業が藤里町に住んでいたら就けないから町外や県外に行ってしまう。雇用の安定が必要。藤里町で正社員就職がどのくらいあるかを伝える必要があると思う。
40～50代	<ul style="list-style-type: none"> ・ コインランドリーがあればいいなと思う。 ・ キャンプ用品貸し出しやキャンプの整備。

- ・ 子育て世代には藤里町は住みやすいと思います。そここのところをアピールして、若い夫婦が住みたいと思うような町づくり（公園・コンビニ他）などの取り入れの検討をしたらどうでしょうか？
- ・ 企画、イベント、行事などに参加する人は大体同じ顔触れのような気がする。その他の人を参加させる気にするために、何をしたらよいか考える必要があるのではないか。
- ・ 若者を町にいてもらう為には、1番はやはり働く場所の確保が必要だと思う。だいたい若者は進学時に町外へ行く人が多いので、進学しても町へUターンしてきてくれるような対策が必要だと思う。優秀な人材ほど町外へ出る状況なので、進学後町へ戻ってきてくれるように、働く場を用意すること、あとUターンしてきて町から（町に住みながら）町外へ通勤できる若者には奨学金を免除するなど、魅力がある藤里町だと思える対策があったらいいなと思う。
- ・ フリーマーケット
- ・ 空き物件を短時間で借りてお試しで営業をしてみたり、個人やグループでDIYをして店舗や住居として貸し出したり。
- ・ マンガ喫茶
- ・ ライブハウス（までとはいかなくても、何かしら自由に演奏できる）
- ・ フリースクール
- ・ まずは仕事を見つけることができるか？（藤里町でなくても良い）あとは住まざるを得ない理由があれば人は出ていかない。
- ・ イベント行事も必要ですが、藤里町に行かないと手に入らない物をもう少しPRするのも大事ではないでしょうか？
- ・ 毎回書いているが、里親を町をあげてすすめてはどうか。子どもが増える、関係人口が増える、という点で明るい材料だと思う。直接定着にはつながらないかもしれないが、上記の理由で町に動きがある、町のみんなが課題（目標）に取り組むのはいいと思う。自分のことだけに目を向けている間は物事は進まない。誰かのための大きなプロジェクトをみんなでやると町が活気づくと思う。誰にでも優しい町になってほしい。県も国も巻き込んでいけるようにがんばってください。
- ・ 子どもに対する支援を充実させればおのずと人口は増えると思います。子どもの数に比例しての現金手当が特にわかりやすく魅力的にみえるかと。
- ・ 結婚、子育て、マイホーム等とてもお金がかかるが、町内ではそれを実現できる収入が見込める仕事はほとんどなく、自動車通勤しても暮らしていくのがやっとな場合が多いのかも。仕事がないので、私の子どもたちは県外に行きました。あれば残っていたでしょう。
- ・ 毎年同じようなアンケートを書いています。まとめた結果は公表しているのですか？アンケートの意見によって変わったことはあるのですか？
- ・ 企業誘致や名産物に力を入れる。気候に合った野菜や果物、みんなが好きなもの。
- ・ 現在の取組み内容が今一わからないが、「ひとり親」「高齢者」「障がい者」に特化した対策ばかりしている感じがする。若い世代ばかり定着すればいいのですか？先日ニュースで報道された「動物愛護法違反」の保護犬はどうしたのですか？町外

の保護施設ですか？町内で起こった事案は町内で収める事ができるよう取り組んでもらいたい。

- ・ 高齢対策は町や社協等が行っているが、雇用に対することはあまり見えてこない！町でどの分野に力を入れているのか教えてほしい！町の職員の方たちにもアイデア、意見を出してもらえるよう策を講じるのはどうでしょうか？
- ・ 藤里町の主な産業である農業のスマート化
- ・ 全国に誇れる藤里町であれば良いと思っています。特別なことをするのではなく、子どもからお年寄りまで幸せを感じて生活できる町であればそれで良いと思います。
- ・ 町の中心部にコンパクトシティを作るといいと思います。
- ・ 働く場を作ってほしい。
- ・ 住居の補助
- ・ 子育て支援
- ・ 観光地を活かす（スキー場で飲食できないことをよく言われる）（スキー場とゆとりあを活かした事や、四季を通してのイベントを考える。素波里の自然を活かす。昔あったアスレチックもよかったけど）
- ・ アパートや賃貸住宅を作る。預かり保育の時間を長くする。病気の子どもも預かる。かもや堂でパン作りでいろいろやっているみたいだが、商売としてやってみるならパンの自動販売機などを町で買ってあげて、毎日売る事を考えてみてはどうでしょう。
- ・ 生きていくための基本、仕事や医療がまず大事だと思う。便利な店、楽しみの場所などは、人が増えたからこそできるものだと思う。全国的には若い人たちが協力して新しい事業を始めたりしているが、藤里でもできないものか？藤里で、特産品と呼べるような何かを見つけられないか？一人で、一家族でやれることは限られているのだから、町をあげて、みんなでできないだろうか？若い人もそうでない人も一緒に加工品を作ったり。
- ・ いつもご苦労様です。この閑散とした町で色々と政策していくのはとても大変だと思いますが、職場の皆さまの斬新な考えに期待します。
- ・ 体育館にランニング、ウォーキングできる所があったらいいと思う。移住などで外から来てもらいたかったら冬の大変さなども体験してもらったり、良い事、大変な事などしっかり発信する事も大事だと思う。協力隊の人たちにもイベント、自然など町外に向けて知ってもらおうようにしてもらったら良いと思います。
- ・ 住宅賃料を安くして。町の中で働き場所があって欲しい。
- ・ 出生率低下、高齢化に歯止めがかかりません。この状況でまちづくりができるのでしょうか。子どもは親を見て育ちますが、買い物、病院等ほとんどが町外で不便な姿を見て子どもはこの町へ残りたいと思うのでしょうか。議員さん方は何かある毎に、支援、助成等後手の対策に講じてる。議員さん方が町、町民生活を良く観察する事でアイデアが生まれると思います。「まちづくり」とはどうなれば完成なのか逆に聞きたいです。「まちづくり」も「アイデア」も無いこの町に、演歌歌手の吉幾三にでも頼んで「おら東京さ行くだふじさと」

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代が町に定着しない理由を把握し、改善していくべきことはしっかり改善して欲しいと思います。まずは若い世代の方たちが集える場所が必要だと思います。 ・ 若い人たちが町へ定着するために、工業、産業の充実が必要です。働く場が限られているので、町に居たくても居れない現実があります。賃金が安いのもその理由の一つです。 ・ 空き家が目立ちます。町でどうこうできる問題ではないと思うが、活用できれば。 ・ 土地を整備し、若い世代に家を建ててもらおう仕組みをつくる。キャンプ場を整備したり、トレーラーやログハウス、グランピングなどのアウトドアで観光を盛り上げる。 ・ もし実行していないのであれば、冬季の除雪予算を次年度以降にプールして、年度の降雪量の多寡に関わらず対応できる様にしていただければと考えます。予算が余り過ぎるようなら別科目に容易に振り替えられるようにしていただければなお良いかと。 ・ 役場の職員、議員を減らしその分の人件費を若い世代へ還元する。学生まで医療費無償。林業への補助をし、若い世代の就職先を作る。 ・ 良いアイデアがでてきません。ごめんなさい。生まれ育ったこの藤里町をこの先も残していきたいと強く思っています。子どもにもより強く思ってくれたらと願っています。子どもは将来家から離れて、学校又は就職するであろう。でもあなたには帰る場所があることを知っててほしいです。
60代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療の充実と仕事があればいいと思います。 ・ 教育改革を進め過疎化問題に取り組み、学校卒業後Uターンが増えている島根県海士町のような先進地事例から学び実践してもらいたい。官民一体となった取組みを真剣に取り組まなければいけない時期に来ていると思う。強いリーダーシップが必要。何か事を起こさないとこのままでは過疎地域の負け組となり衰退してってしまう。一過性の観光ではなく、持続性のある交流、関わりを外部とつなぐ仕組みを考えてみては。世界自然遺産地域でのごみゼロキャンペーンをやってみては！ ・ 仕事もって収入もできれば高収入であることが望ましい。能代、山本地域の賃金が低い事も若い人々が住みづらい環境となっている理由なのではないかと思う。 ・ 若い指導者（町長、町議）による思い切った町づくり、若者の台頭、活躍によって刷新が必要！か？ ・ 若い世代は年寄り自分たちを助けてくれないと諦めているという調査結果がある。充実した人生を願う若い世代は、そのために必要なお金があれば十分だと考えているが、年寄りたちは生きる目的がお金を得ることになり、そのために生活を仕事中心の時間割にしている。若い人の価値観に異を唱えず、受け入れることができれば、若い世代は生きやすさを感じることができるのではないか。若い世代の意見を良く聞き、年寄りが変わることが大事である。 ・ 町の財産を最大限に活かし、外部に発信する事で人を沢山呼び込み、町の良さを伝えていく。 ・ 発信の仕方を工夫し、広くアピールして欲しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ “とじこじ” はとても良いので、町外にも配布できれば町の魅力が伝わるのでは...？・ホームページあまり見ないので、ツイッターとかでも良いのでは（どんどん広がります） ・ 町外で仕事をしていると、なんとなく地域に壁を感じてしまう。出身地じゃないからかなあ～ ・ 移住者、定住者への助成（例 1人→10万円） ・ 義務教育学校の特色を出す。県内初〇〇授業、国内初〇〇授業など。例 音楽→高橋優とオンライン授業、林修とオンライン授業、橋本五郎とオンライン授業など ・ 美しくすばらしい環境の整っている町ですので、“健康”をテーマとした取組みとか？長期滞在型人間ドック、さらに治療とか。◎ぼうと一週間過ごしてみませんか？◎ストレスのない1ヶ月どうでしょうか（食材、水、風景）◎あなた、電波のない山で生きられますか。◎何はともあれ住む人が楽しいと思わなければ人は集まり、住みたいとは思いません。（町民みんなで楽しくしましょう） ・ 地域おこし協力隊の方々の各地区での活動の工夫。 ・ 白神山地を活かしたPRと活用・子育て支援が充実していると、他市町村から来たいと思う町になる。 ・ 企業誘致による雇用創出 ・ もっと別に役場職員やるべき事があるのでは？
70代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ せっかくある山、田、畑、農業、林業に力を入れて欲しい。この先、米価、消費と不安はあるが、高齢化に伴い担い手が少なく、放置された山、減反と目に余ってくるのでは？若い人たちが楽しくやりがいを持って前向きに地元で仕事できる、生活できる藤里町になれば良いなあって日々思っています。リーダー的存在の若者を育てていただきたいです。60代後半、微力ながらまだまだがんばり応援したいと思えます。その気持ちはあります。 ・ 町職員や町民の研修機会を増やし、固定概念を打破し、町づくりのスキルアップを図ってほしい。藤里町で学ばせたい、藤里町で働きたい、住みたいと思うような施策の推進。 ・ 北羽新報 2/1 現在の藤里町の人口は2,787人、藤里町広報によると 1/31 現在の人口は2,997人とある。いよいよ3千人の大台を割って、町民のショックは大きい。そもそも町と北羽との統計は210人の差がある。これは何故か？詳しい説明が知りたいと日頃思っている。広報で説明願えれば幸いである。3千人割ったコメントも欲しいところです！ ・ 定年で働かなくなった家だけに居る人が、若い人に急なことができた時、地区の守人隊のような仕組みを作って、対応してやったらいいのではないかと思います、どのようにも受け取る人がいるので難しいですね。 ・ 役場職員でいまいちど話し合ってください。いろんな年齢の考え方があってと思います。 ・ 毎日のお仕事ご苦労様です。 ・ 藤里町で働いて生活するのは無理なんですか？安定した職場が必要だと思います。低賃金だと町外、県外と若い世代は移動するし、高齢者だけの町になるのでは？

年代によって藤里町への意識は違うと思うし、少子化対策は必至だと思います。

- 若者の働ける職場がほしい
- 現在は自家用車で移動ができるため、買い物等はよいが、運転できなくなったとき交通の不便さを感じます。食堂が少ないため、町外からの人が土曜日、日曜日に町内に来て食事ができないとの声が聞こえてきます。町の経営の軽食店があればと思います。時間も長く、従業員は元気な高齢者、短時間の交代。
- 町に企業があれば若者が住んでくれて、金の面で活気がつく。車社会なので、30分程の圏内であれば他町からも呼ぶこともできる。キーワードは企業誘致です。行政の本気度だと思います。
- 藤里町ではバスが通ってくれているから本当に有難く思っています。年をとって運転できなくなったらバスを利用します。秋北バスがなくならないようにお願いします。病院や買い物とか一番です。また回覧板や無線が頼りにしています。
- 観光による交流人口を増やすこと。そのための観光協会を立ち上げて、若い世代の人たちとのイベントを企画して頂きたいです。
- 利息を確保できなければ何でも継続は難しいと思う。生産性のある農業や福祉施設へ県外から利用者が募る等エリアを作る。
- 若い人たちの働く職場が多ければ孫たちも家から通える方がいいと思うが...人口が少なければ結婚相手を見つけるのも大変なことでしょうし、若い人の定着は難しいのかな？
- 国からの交付金をいつまでもあてにできない。世界、国のほうは急速に変化している。町の中のことのみで判断できない時代と考える。そして一流の人が本当のことを言っているいるのかも怪しい。自給自足的に町が自立してやっていけるものなら、やたらと上の方に頭を下げなくてもいいが、それも今のところ難しい。そんなに他の町などよりも豊かにならなくてもいいから、暮らしやすい町づくりを考える。問題はどんなことで町の人が収入を得るかにある。知識、技術は当然必要とされる。将来を見通せる人々が必要とされる。方向を間違えば船は沈没する。それは国も人も同じと考える。俺はもう70の老人で、頭も体もそんなに調子が良くない。これからの人に言えることは、井の中かわずにならないように、広く見ていくことと考えます。
- 昔はすごく人がいて、活気があった。今はさびしい。店も人も少なく、まして今年藤里町で生まれた子供がたった5~6人だと聞いています。昔同級生は200人~300人もいた。遠い昔に返ったのか？わからないが、店は少なく、人口も年齢が上の人だけになり、藤里町じゃなく部落に？今の世の中、人口減少あたり前?!隣近所の交流も少なくなり、昔の面影今いずこ。さびしい。でも藤里町がんばっている。がんばってください。応援しています。がんばれまじめな藤里町。
- 雇用場所がないから若者は農山村から離れるという考えは、雇用を共通の指標にした合理的な考え方ではありますが、若者が農村に戻ったり、移住してくる理由はそれぞれの思いの方にあります。例えば、先祖から受け継がれてきたものを自分の代で終わりにしてよいものかとか、子どもの頃の思い出とか、サラリーマンが嫌になったとか、農に魅力を感じたとか、理由は様々あると思います。そういう決して合理

的でない思いを受け止める力があるかどうか地域づくりには欠かせないと思います。

- ・ 職場がないのが問題。
- ・ 豊富な山、川、土地を利用して、生活できるような仕事を考える。
- ・ 新しく自営業をするような人をいろいろな面で応援する。
- ・ 以前あったような青年会のような集まりを作って切磋琢磨する。
- ・ 商工業の仕事の場が少ない
- ・ 町に活気を生み出す為、人の流れを良くしたいと思う。藤里町は自然が豊かですが、これは他の市町村も秋田ならどこも同じレベルの自然があふれていますが、他にない物として世界遺産の白神山地があります。もう一度原点に戻って考え通して、登山ルートを一か所つくり、世界中から人を呼び込み、山の魅力を伝え続ける方向に転換する時期がきているのでは。人がいい、水がいい、山がいい、だけでは若い人は物足りないでしょう。人の流れが良いと雇用も生まれます。白神山地をもっと最大限利用すべきです。山を守って、住む人も守られるべきです。もう一つはスキー場です。スキーは冬場だけで、幅広い人を呼ぶ対策には欠けています。あの場所を福島県にある物見山を参考にして企画を立て観光のポイントに!!観光に行った時、大型バスが10台以上ズラリと並んでいたのに衝撃を受けました。春から秋まで観光できます。活気を作り、雇用対策し若者を呼んでください。農業分野では安心して仕事ができるように、一般企業のように社会保険等の保障が守られる体制に変えていくべきと思う。安心して働ける会社として、農業をつないでもらいたい。冬場も働けるような稲作に頼らない物づくりに挑戦させることも大切だと思います。藤里町に嫁いで良かったと思う老後を迎えたいものです。移住した若い方に選んだ理由を聞いたテレビ番組がありました。子育てし、教育と医療費が18歳まで無料なので安心して子育てできるとのことでした。このような大きなメリット、発信できる町づくりにしていきたいものです。
- ・ 雇用の場の創出・人口減少に本気対策
- ・ 強いリーダーシップが必要
- ・ 先見性のあるトップが必要・国、県のいうことをただやっているだけでは進歩しない。
- ・ 現状分析できていない。夢、希望では生きてゆけない。
- ・ 老若男女事由に意見を言える場が必要。
- ・ 町内に住んでもらうためには仕事があれば良いと思う。小さな大工工事とか地元の人に働いて欲しいと思う。
- ・ 有効的な税金の使い方
- ・ 人口を増やすための少子化対策
- ・ 若い人たちや中年（40～50代）が働く場所が有るといいです。いろんな面で。
- ・ どこか中央の大学の分校招致はできないだろうか。町や町民をあげて応援する事をアピールできないだろうか。災害が少ない町だと思ふ。それを宣伝して。大規模な防災シェルターを作り、国内外に宣伝し、日本一安全な町を作れないだろうか。白神山地の豊富なお水などもっと宣伝できないだろうか。
- ・ 意見やアイデアを町民からとの意見はアンケートで得られることはない。アンケ

ートは○×か新聞の見出しのようなものでそのことを職員が見ても分かるはずもない。本気であるならば、論文形式の考えを取り入れなければならない。町民の本気での行動ややる気を掘り起こせ。◎その前にあなたのやる気を。小生より頭の優れているはずの職員の皆さん江

- 老人の町で日ごろの死別する方の多いことにさみしさを感じ、これからの若い人たちは町に一人でも多く残ってがんばってもらい、町がなくならないようがんばってもらいたい。
- 藤里町は造林地の多い所です。若い人たちに林業に残ってもらいたい。林道作業道を作る。造林地=50年~70年になってる。入札しても道もないから赤字になる(事業)。10年前から見ると造林新植=単価4倍から7倍になっている所もある。県営林、公社にくる人たちを見てると女の人もくる。林界測量にもきている藤里も若い男女多く山に入ってもらいたい。30年も前に町長さんにもお願いしたことがあります。
- 若い人たちや子どもたちがいて賑やかな藤里町を願っています。
- どの県市町でも有るせき水が流れている。雪を投げるのに若いならいいが年とった80歳の人たちもなげなきやならない。せめてせきがほしい。県はブルでただおして道に置いていくだけだ。どうにかしてほしい。
- 今年例年より雪が多く、町の除雪も大変であったと思います。関係者の皆様には、本当にありがとうございました。
- 働ける場所の確保。
- 農林業の町。農については限られた土地であり、畜産を多くしなければならない。やはり牛だと思う。草地を作り多頭飼育をするべきであり、そのためには意欲ある若い青年を育てなければと思います。山林を育てる適切な管理により収入を上げることもできます。
- 高齢者のため、何時急病になったとき、診て頂くお医者さんが近くに居るようにしてほしいと思います。町の発展のためにも大切だと思います。町の為、少しづつでも良くなるよう頑張ってください。
- 駒わりくんを距離や場所(バス停)にこだわらずに利用できるようにしたら?
- コロナ禍と大雪で精神的にまいりました。一刻も早い収束を願っています。
- 福祉のデイサービスで週1回お世話になっています。今年で2年目になります。時々思うこと、私も退職した後、30年姑さんと生活しました。デイサービスの1日は天国とは知らないけれど世話をしてくれる方々の仕事(お風呂入りや食事、その他いろいろ)をみたり、世話を受けて、優しい気持ちや言葉遣いにありがたいの気持ちでいっぱいです。こんなところがもう一つあったら、これからの高齢者が多くなるようなので、若い人の働く場、高齢者の幸せなんかどうかなと思ったりします。
- わたしは月1回二ツ井の医院までハイヤー、ヘルパー付きで通っています。窓から春秋の自然の美しさと、草ボーボーの原っぱか昔の畑かわからなくなったところなど見て、このようなところに、大館に何年か前に建てた(医科関係のものを使っているところ)建物みたいに何か工場ができると若い人たちが働けるのではないかと思ったりすることがあります。

藤里町の人口減少やまちづくりに関するアンケートのお願い

町民のみなさまへ

町では、「藤里町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27年度・第1期、令和2年度・第2期)を策定し、人口減少問題を解決し、藤里町の特徴を生かした活力あるまちづくりや、暮らしやすく、子育てしやすいまちづくりの実現に取り組んでいます。

本調査は、計画の一層の推進を実現し、取り組みの効果や評価を把握するため、毎年実施しています。経年調査としているため、毎年同じ設問を設定させていただいている事項もありますのでご了承ください。

また、無作為に対象者を抽出しておりますが、毎年対象になる方もいらっしゃると思いますので、趣旨をご理解いただき、同封のアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、町のホームページで公表していますので、ご覧ください。

令和4年3月

藤里町長 佐々木 文明

記

【調査目的】 よりよい藤里町のまちづくりを実現するための「人口ビジョン及び総合戦略」の指標に基づく効果調査を行い計画の推進を目指す。

- *これまで、アンケート調査の結果等を反映し、取組を新設し実施しております。
- ・若い世代の人口流出の抑制と子育て環境の整備：出産祝金事業、入学祝金事業、通学助成事業、住宅新築補助金事業、定住化促進住宅事業など
- ・行政だけでは担えない地域づくり、まちの賑わい創出：みんなでまちづくり事業など
- ・移住者への取組支援：相談体制の充実、各種補助金など

【対象者】 藤里町に在住する町民 1000人(無作為抽出)

【回収日・回収方法】 **3月16日(水)**までに返信用封筒に入れてポストに投函、または、役場正面入り口の回収箱へお願い致します。

【調査に関する問い合わせ】 藤里町 総務課 企画財政係
〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字藤琴8番地
TEL：0185-79-2111

以上

3. まちづくりの現状の評価について

質問5 普段のおでかけ環境について満足していますか？ひとつだけ選んで○をつけてください。

●外出時の移動手段について

- ①自家用車 ②路線バス（月・週 いずれかに○印 _____回程度利用
②タクシーなどの公共交通機関 ③その他（ _____ ）

●上記で選んだ移動手段について満足していますか？

また、③～⑤を選んだ方は理由もお答えください。

- ①満足 ②やや満足 ③あまり満足していない ④満足していない ⑤どちらともいえない
→③～⑤を選んだ方の理由：

質問6 普段の生活の中で、人手不足を感じることはありますか？あてはまるものをひとつだけ選んで○をつけてください。

- ①強く感じる ②まあまあ感じる ③あまり感じない ④全く感じない ⑤分からない

質問7 「①強く感じる、②まあまあ感じる」と回答した方にお聞きします。どの分野で人手不足を感じますか？ 特にあてはまるものを3つまで選んでください。

- ①地域（集落）の役員や行事を担ってくれる人 ②冠婚葬祭を手伝ってくれる人
③草刈りなどの地域の共同作業 ④農作業をやってくれる人
⑤子どものお守りや見守りをする人 ⑥学校の保護者役員や行事を担ってくれる人
⑦高齢者の見守りや日常生活を支援する人 ⑧災害時に対応してくれる人
⑨何か困った時に、声をかけたら手伝ってくれる人 ⑩冬期間の除雪を手伝ってくれる人
⑪その他（ _____ ）

質問8 町では、IターンやUターンなどの移住の取組のほか、若い世代の町への定着を図るための取組を行っています。移住定住の取組で何が重要だと思いますか？特にあてはまるものを3つまで選らんで○をつけてください。

- ①公共交通の充実
②多様な住宅供給（町営住宅・定住化促進住宅・民間アパート・空き家）
③子育て支援の強化（母子保育・保育サービス・子育て支援・遊び場）
④高齢者福祉の充実
⑤障がい者福祉の充実
⑥母子父子福祉の充実
⑦医療体制の充実
⑧学校教育の充実
⑨農林・商工業の振興
⑩観光の振興
⑪地域コミュニティの充実
⑫情報通信基盤の整備（インターネット等）
⑬その他（ _____ ）

4. 町の高齢者施策について

★藤里町の高齢者（65歳以上）の人口は、1,486人と全町人口の48.2%を占めており、高齢者も若い人に負けずに活躍しておりますが、身体の不自由さも感じてくる年代でもあります。そういった中、町の施策の中で、次のことについて皆さんのご意見等をお聞かせください。ご家族の高齢者の方のご意見でもかまいません。

≪「敬老式」・「金婚式」事業について≫

質問9 「敬老式」は、毎年5月10日を基準として開催しております。当町では、昨今の状況や他市町村の実施状況等を踏まえ、開催時期の見直しを検討しております。良いと思う開催時期についてひとつだけ選んで○を付けてください。

*今年度はコロナウイルス感染症の影響により、10月に初敬老者のみで開催しました

①5月 ②6月 ③9月（敬老の日あり） ④10月 ⑤その他（ ）

質問10 「金婚式」は、毎年9月の老人クラブ大会の中で実施しております。今年度はコロナウイルス感染症の影響により、老人クラブ大会が中止となり、10月に開催した「敬老式」の中で「金婚式」を実施したところ、いい反響があったことから、開催内容を検討したいと思っております。いいと思う開催方法を、ひとつだけ選んで、○を付けてください。

①例年通り（老人クラブ大会内で開催） ②敬老式の中で実施 ③単独で実施
④その他（ ）

5. 情報の発信について

質問11

①町の広報 ②回覧板 ③町のホームページ ④町のフェイスブック
⑤人づて ⑥防災無線 ⑦特に入手していない
⑧その他（ ）

質問10 地域おこし協力隊員が毎月発行している「とじこじ」や、1年に1回発行の雑誌「とんじこんじ」は知っていますか。また、内容についてどう思いますか？

*町のひと・もの・ことを発信し、足元にあるものの豊かさ・町の暮らしの豊かさを見つめ直しまちへの誇り・愛着を醸成しようという取組のひとつです。

①知っているし、読んだことがある ②読んだことはないが知っている ③知らない
●読んだことがある方に質問です。内容について満足していますか？理由もお答えください。
①満足 ②やや満足 ③あまり満足していない ④満足していない ⑤どちらともいえない
→理由： _____

